

平成28年度  
教育委員会事務の点検及び評価報告書

(平成27年度事務事業対象)

平成28年9月

長門市教育委員会

## 目 次

はじめに	1
教育委員会の活動状況	2
教育委員会の活動状況について	2
教育委員会事務の点検及び評価制度	5
1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の 点検及び評価の実施について	5
2 長門市教育委員会の権限に属する事務の 管理及び執行の状況の点検及び評価について	5
3 点検及び評価の対象事業について	8
4 有識者の総括的な意見	10
5 各事務事業の点検及び評価結果	13

## はじめに

---

長門市教育委員会では、約60年ぶりに改正された「教育基本法」(平成18年法律第120号)において、「国の計画を参酌し、地域の実情に応じて計画を策定するよう努めなければならない」とされたことを受け、平成24年度から5年間の「長門市総合計画・後期基本計画」に連動させた「長門市教育振興基本計画」を策定しました。

この計画は、現行の学校教育や社会教育の取組を再構築し、長門市における教育振興に必要な施策を体系化しています。そして、基本理念を「生涯を通じて自らを磨き・高め、連携して「知」をはぐくむ」とし、教育をめぐる学校・家庭・地域・行政の各主体が「横の連携」を強化し、学校での教育段階はもとより、生涯を通じて自らを磨き、高めていく「縦の接続」を重視することで、少子高齢化が進行する本市の課題であるコミュニティの再生も併せて図っていくものとしています。

平成26年には「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(昭和31年法律第162号)が改正され、地方公共団体の長は、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることが義務付けられました。

このことを受け、本市では平成27年度に「長門市教育大綱」を策定しました。この大綱は、本市の将来を見据えた教育の振興に関する計画として策定した「長門市教育振興基本計画」の総論として位置付け、基本的な理念・目標を定めました。

大綱では「長門を愛する子、故郷を誇れる子を育む」を推進の力点として、コミュニティ・スクール、地域協育ネットを主な取組として推進することとしました。

また、点検・評価の報告書の作成は、平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、平成20年度からすべての教育委員会は、「毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しなければならない。」こととされました。

そこで、市教育委員会では、法の趣旨に則り、効果的な教育行政を推進するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、市教育委員会が実施した平成27年度事務事業のうち、主要な事務事業を対象に教育委員会自らが点検及び評価を行い、学識経験者等の意見をいただき、報告書としてまとめるものです。

## 教育委員会の活動状況

### 教育委員会の活動状況について

#### (1) 教育委員会の開催状況

教育委員会の会議は、原則として毎月第4火曜日に「定例会」を開催し、必要に応じて「臨時会」を開催することとしています。平成27年度は、次のとおり会議を開催しました。

- ①定例会・・・・・・・・・・12回
- ②臨時会・・・・・・・・・・1回

#### (2) 教育委員会での審議及び報告

教育委員会の会議では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第21条に定める事務（同法第26条及び「長門市教育委員会所管事務委任規則」の規定に基づき、教育長に委任された事務を含む。）について、議案審議及び報告等を行いました。

#### 【付議事件等】（平成27年4月～平成28年3月）

区分	内 容	件数
議 案	教育行政の運営に関する一般方針を決定すること	1
	規則及び規程の制定または改廃に関する事	6
	議会の議決を経るべき事件の議案に関する事	6
	学校その他の教育機関の設置又は廃止に関する事	—
	人事に関する事	12
	附属機関等の委員等の委嘱等に関する事	2
	通学区域に関する事	—
	県費負担教職員の任免その他の進退の内申に関する事	1
	その他	2
選 挙	委員長の選挙について	1
指 定	委員長の職務代理者の指定について	1
報 告		21
協 議		6

教育委員会議の活性化のために、次のことに継続して取り組みました。

- ①会議録の承認・・・教育委員及び事務局職員の共通認識及び発言内容の確認のために、委員会で承認を受ける。
- ②教育長からの報告・・・各課からの報告のみでなく、教育長から諸会議等の出席に伴う報告及び最新情報の提供を受ける。
- ③意見交換の実施・・・市内外での問題をタイムリーに意見交換する。

(3) 総合教育会議の開催

- 第1回 平成27年 7月 3日
- 第2回 平成27年 8月24日
- 第3回 平成27年10月30日

(4) 教育委員の活動

教育委員の各種行事への参加状況は次のとおりです。

①幼稚園・小中学校計画訪問

月日	学校名	月日	学校名	月日	学校名
5/13	通小学校	5/20	浅田小学校	10/8	深川中学校
6/10	仙崎小学校	5/25	日置小学校	10/21	俵山中学校
6/3	深川小学校	7/8	神田小学校	9/16	三隅中学校
5/19	向陽小学校	5/21	油谷小学校	10/14	日置中学校
7/6	俵山小学校	6/12	向津具小学校	10/1	菱海中学校
6/8	明倫小学校	9/28	仙崎中学校	10/16	宗頭幼稚園

②研修会等

- ・山口県都市教育長会議 平成27年 4月15日
- ・山口県市教育委員会協議会総会 平成27年 4月15日
- ・山口県市町教育委員会委員研修会議 平成27年 4月15日
- ・全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会  
平成27年 5月21日～22日
- ・県・市町教育委員会教育長意見交換会「ともに一ティング2015」  
平成27年10月15日
- ・中国地区都市教育長会定期総会並びに研究協議会

平成27年10月22日～23日

- ・山口県市教育委員会協議会研修会 平成27年11月12日
- ・市町村教育委員研究協議会 平成28年 1月15日

③式典

- ・長門市立小学校入学式 平成27年 4月 8日
- ・長門市立中学校入学式 平成27年 4月 8日
- ・長門市立油谷小学校の完成を祝う会 平成27年 9月 1日
- ・長門市成人式 平成28年 1月 3日
- ・長門市立中学校卒業証書授与式 平成28年 3月10日
- ・長門市立小学校卒業証書授与式 平成28年 3月18日
- ・長門市立俵山中学校閉校式 平成28年 3月27日

## 教育委員会事務の点検及び評価制度

---

### 1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施について

平成18年12月の「教育基本法」の改正と平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

#### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律《抜粋》

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 長門市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

#### (1) 点検及び評価の目的

点検及び評価は、市民に対する行政の説明責任を果たすことによって、教育行政に対する市民の理解と信頼性の向上を図るとともに、今後重点化を図らなければならない分野を明確にすることによって、市民が求める質の高い教育を提供していくことを目的としています。

#### (2) 点検及び評価の対象

##### ①対象期間

平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）

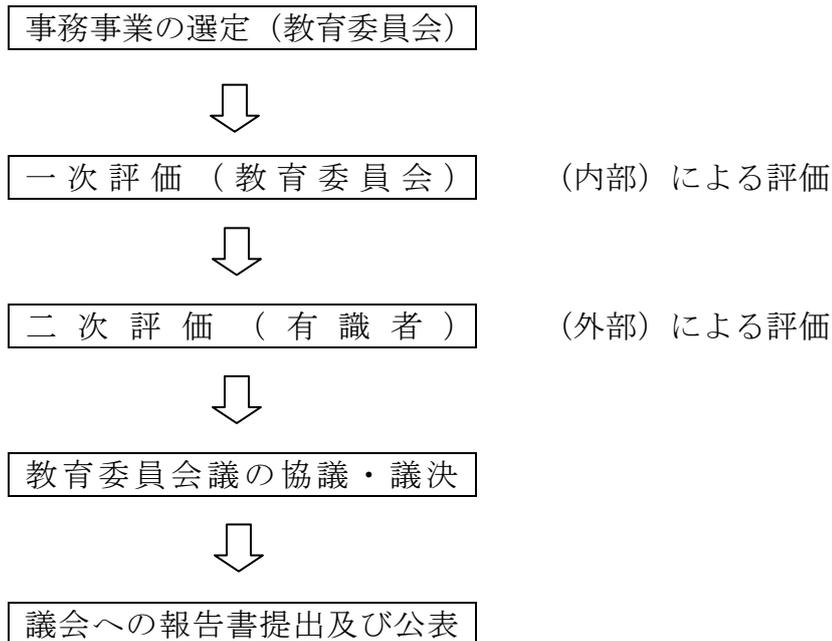
##### ②対象事務

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に規定されている教育委員会の権限に属する事務（市長部局において補助執行している事務を含む。）及び市長の権限に属する事務のうち教育委員会事務局において補助執行している事務

(3) 点検及び評価の実施方法

「長門市教育振興基本計画」に定める基本理念と基本目標に基づき、具体的かつ総合的に事業を進めるために策定した「平成27年度長門市教育施策方針」に定める施策に関する事務事業ごとに執行状況を点検し、これを評価する方法により実施しました。

(4) 点検及び評価の流れ



(5) 有識者の知見の活用について

事務事業の点検及び評価の客観性を確保し、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、事務事業の点検及び評価に関する有識者（以下「有識者」という。）を置き、教育委員会が行った事務事業の点検及び評価の結果についてご意見をいただきました。

有識者は次のとおりです。

- ・中野 キクエ（元小学校長）
- ・山近 洋祐（元中学校長）
- ・山近 弘恵（前明倫小学校育友会会長）
- ・梶谷 稔（前深川中学校PTA会長）
- ・吉村 典和（菱海中学校運営協議会委員）

長門市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価実施要綱

平成 22 年 4 月 1 日

教育委員会要綱第 4 号

(改正 平成 27 年 3 月 23 日教育委員会要綱第 6 号)

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号。以下「法」という。)第 26 条第 1 項の規定により行う教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(以下「点検及び評価」という。)について、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第 2 条 点検及び評価の対象は、長門市教育委員会教育行政施策方針に定められた施策を推進する事務事業のうちから、教育委員会が選択したもの(以下「事務事業」という。)とする。

(点検及び評価の実施)

第 3 条 教育委員会は、当該事務事業を企画立案し遂行する立場から、毎年度、事業の必要性、効率性、有効性その他の事項を視点として、点検及び評価を行う。

(点検及び評価に関する有識者)

第 4 条 点検及び評価を行うにあたり、客観性を確保するため、事務事業の点検及び評価に関する有識者(以下「有識者」という。)を置き、教育に関し学識経験を有する者等の知見の活用を図る。

2 有識者は、教育委員会の求めに応じ、点検及び評価について意見を述べるものとする。

3 有識者は 5 人以内とし、教育に関し学識経験を有する者、教育に関し優れた識見を有する者の中から教育委員会が委嘱する。

4 有識者の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠の者の任期は、前任者の残任期間とする。

5 有識者は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(市議会への報告等)

第 5 条 点検及び評価の結果は、毎年市議会に報告するものとする。

2 前項の報告の後に、点検及び評価の結果を市民に対し公表するものとする。

(補則)

第 6 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 27 年教育委員会要綱第 6 号)

この要綱は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

### 3 点検及び評価の対象事業について

基本理念	基本目標	施策の課題	事務事業	番号
生涯を通じて自らを磨き・高め、連携して「知」をはぐくむ	安全・安心な教育を確保するとともに、質の高い教育環境を整備します	安全・安心な教育を支える環境の整備	学校施設の耐震化事業	1
			油谷小学校改築事業	2
			学校統廃合事業	3
			学校給食センター運営管理事業	4
			通学支援事業	5
		質の高い教育を支える環境の整備	学校教育の情報化事業	6
			長門市学校教育研究大会事業	7
		地域で子どもたちを育てる環境の整備	コミュニティ・スクール推進事業	8
			地域協育ネット事業	9
			家庭教育支援事業	10
	子どもたちの個性を尊重しつつ能力を伸ばし、生きる力を育成します	知識、思考力・判断力・表現力、学習意欲等の「確かな学力」の育成	「確かな学力」育成サポート事業	11
			研究指定校補助事業	12
			防災教育推進事業	13
			子ども教育ゆめ基金海外派遣事業	14
		規範意識を養い、豊かな心と健やかな体づくり	教育支援センター事業	15
			いじめ問題に係る教育相談事業	16
		特別なニーズに対応した教育の推進	特別支援教育の充実事業	17
			教育支援委員会事業	18
			夏季教育研修講座事業	19

基本理念	基本目標	施策の課題	事務事業	番号
生涯を通じて自らを磨き・高め、連携して「知」をはぐくむ	社会全体で、生涯学習の理念に基づく取組を推進します	いつでも、どこでも学べる機会の充実	生涯学習の推進事業	—
			成人式開催事業	20
			公民館指定管理事業	21
			図書館の充実事業	22
			婦人団体活動支援事業	23
			青少年健全育成団体支援事業	24
			人権教育講座開設事業	25
			人権教育啓発推進事業	26
			生涯スポーツの推進事業	—
			地域スポーツ人口拡大推進事業	27
			スポーツ教室・健康医学講習会開催事業	28
		長門市体育協会補助金事業	29	
		学校・家庭・地域の連携を強化し、学習成果を生かす協働の推進	地域協育ネット事業（再掲）	—
			放課後子ども教室推進事業	30
生活習慣マネジメント・サポート事業	31			
次世代への地域文化の継承	文化財の保護・活用事業	32		
	地域文化の継承事業	33		

#### 4 有識者の総括的な意見

有識者からは、教育委員会が行った事務事業の点検及び評価の結果だけでなく、教育行政全般について、次のとおりご意見をいただきました。

今回の点検及び評価が、教育行政に対する市民の理解と信頼性の向上、質の高い教育を提供するという目的を達成できるよう、今後も改善しながら事務事業を執行していきます。

##### 【報告書について】

- 各事業の取り組みにたいへん熱意を感じる。
- 今後も各事業よく連携をとって効率を高めてほしい。
- 事業の目標に長期目標だけでなく、短期目標も掲げてあると達成状況の評価・次の課題把握をしやすくなると思う。特に長期に渡る継続事業ではマンネリ化を防ぐことに繋がると思う。
- 各事業の今後の方向性について、現状維持で継続か、期間決めて完了、見直しまたは事業拡大など、考えが明記してあると参考になる。
- 教育関係に専門的に携わっていない立場であり、報告書についての評価等に対しては、情報が不足している面がある。
- 報告書の内容（各事務事業の項目量）に対し、点検評価までの機会（時間）が、勉強不足の面もあり不足している。
- 今後とも様々な情報提供をお願いします。
- 全般として丁寧にまとめられている。
- 具体的な活動内容や予算の使われ方がもう少し具体的に示してほしいと感じるところがある。

### 【教育行政について】

- 人間力（・知的能力・社会対人関係力・自己制御）を醸成するための事業に取り組まれていると思います。今後も不易として継続するもの、また流行としての現代的課題にもしっかりと対応され子どもたちのための教育行政を推進して下さい。
- 以前実施されていた教職員対象のふるさと探訪復活されてはいかがでしょうか。（義務教育時に地域文化を知らせる、教えるにはまず教職員からしっかりと研修する必要有）
- 本市の将来を見据えた「市教育大綱」が策定された。「長門を愛する子、故郷を誇れる子」を育むために各課の横の連携を一層密にして推進していただきたい。
- 地域における人と人とのつながりが希薄になり、親が身近な人から子育てを学ぶ機会も減少していく中、家庭教育が困難になり悩みや不安で孤立している親も少なくない。また、子供たちの問題行動の多様化・複雑化により学校だけでは解決できない事も増えています。

今後、地域ぐるみで子どもたちを見守り育てるという仕組みとその有効な活用は一層求められます。それについては、親や保護者と同じ目線で寄り添える人材も必要です。

そして今、子供たちには「生きる力」を身につけることが大きなテーマとなっていると思います。大学入学選抜者改革により、大学受験にも「生きる力」が総合的に評価されるようになります。困難に取り組む姿勢を身につけること、異年齢の関係でのコミュニケーション能力の向上など、地域協育ネットの仕組みを生かして長門市総がかりで子どもたちの育ちや学びを見守り

支援する取り組みの推進・充実に期待します。

- 地域協育ネットの更なる広がりのために、今後とも継続して前向きに取り組んで行くことが必要と思う。
- 各コミュニティスクールの一層の充実を図ってほしい。
- 学校、家庭、地域で育てるところで、地域は長門の土地柄、人柄がよく現れ、活かされて行政が主導され運営されていると感じる。

福祉の面にこれからも力を注がれ、教育支援、不登校児の対応を今後ともお願いしたい。みずず学園という取り組みも含め、心の教育先進地となって全国的に誇れるものに進んでほしい。

学校施設も油谷小学校を見るとこれが長門にと思うほどすばらしい建物がある。教育の質も高く、長門に住みたい長門で子育てをしたいと思える地域になってほしい。

## 5 各事務事業の点検及び評価結果

### (1) 施策の課題

施策の課題	取 組 状 況	番号
安全・安心な教育を支える環境の整備	長門市学校施設整備計画に基づき、安全で安心な教育環境整備を進めており、校舎の改築、耐震補強工事等の実施により、平成27年度末に構造耐力上主要な部分の耐震化率100%を達成。今後は、非構造部材（天井・外壁など）の耐震化等に取り組んで行く。	1-5
質の高い教育を支える環境の整備	平成23年度から計画的に整備を進めてきた校務用パソコンについては、平成25年度をもって完了した。また、教育研究大会については、学校教育基本方針の定着と教職員が研究交流を推進する場であるが、学校運営協議会及び保護者、市民にも広く呼びかけ、協働意識を高める場ともしたい。	6-7
地域で子どもたちを育てる環境の整備	「地域協育ネット」の推進により、地域総ぐるみで子どもを育てる気運が高まり、地域活性化と地域住民の生きがいづくりにつながっている。また、家庭教育学級の研修・交流により、学級活動の推進を図っている。	8-10
知識、思考力・判断力・表現力、学習意欲等の「確かな学力」の育成	学力向上のため、校種間連携と授業改善等を柱に各校の取組を推進するとともに、有効な手立てを市内全体で共有している。	11-14
規範意識を養い、豊かな心と健やかな体づくり	課題のある子どもたちへの対応や豊かな情操を養う教育活動を展開している。あわせて、自分らしい生き方を実現するための力の育成に努めている。	15-16
特別なニーズに対応した教育の推進	関係機関と連携し専門家等の意見を踏まえ、早期からのよりよい就学に努めている。また、可能な限り通常の学級で支援を要する子どもたちへの対応を行っている。	17-19
いつでも、どこでも学べる機会の充実	人権教育セミナーをはじめ、スポーツ教室の開催など様々な学びの機会を提供するとともに、図書館・公民館事業の充実により、市民の生涯学習の推進を図っている。また、スポーツを普及・指導する団体等を活用し、誰もがスポーツを楽しんだり、学んだりできる環境の整備を行っている。	20-29
学校・家庭・地域の連携を強化し、学習成果を生かす協働の推進	市内小規模小学校において放課後子ども教室を開設し、放課後の子どもの居場所づくりに取り組むとともに、学校・家庭・地域が連携し地域児童の健全育成を推進している。	30-31
次世代への地域文化の継承	企画展の開催や学校への出前講座などに取り組み、市民や子どもたちの地域文化に対する理解を進めるとともに、文化財の保護や伝承について取り組んでいる。	32-33

## (2) 各事務事業

番号	1	主管課	教育総務課
事業名	学校施設の耐震化事業		
施策の課題	安全・安心な教育を支える環境の整備		
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	平成 19 年 3 月に策定した長門市学校施設整備計画（学校施設耐震化推進計画）に基づき、耐震性の低い校舎及び屋内運動場の耐震補強工事を行い、児童生徒の安全かつ安心な学習環境の整備を図る。		
予算額 (決算額)	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度（当初）
	繰越明許予算 13,916,700 円 (13,916,700 円) 現年度予算 403,260,000 円 (401,323,680 円)	現年度予算 512,741,000 円 (510,456,456 円)	繰越明許予算 132,656,000 円  現年度予算 216,637,000 円
執行率	99.5%	99.6%	—
評価  (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成 27 年度においては、三隅中学校特別教室棟の改築工事に着手し、平成 28 年 7 月末に完成予定である。</p> <p>また、非構造部材の耐震化への取組として浅田小学校、通小学校、俵山小学校の屋内運動場吊り天井落下防止工事、菱海中学校校舎棟外壁及び屋上防水等改修工事等を実施した。</p> <p><b>【平成 27 年度事業実績】</b></p> <p>①小学校施設耐震化事業（支出額 156,238,400 円）</p> <p>浅田小・通小・俵山小屋内運動場吊り天井落下防止対策事業 74,120,400 円</p> <p>深川小・日置小・神田小屋内運動場吊り天井落下防止対策事業 ※平成 28 年度へ繰越 82,118,000 円</p> <p>②中学校施設耐震化事業（支出額 354,218,056 円）</p> <p>三隅中学校特別教室棟 240,503,296 円</p> <p>菱海中学校校舎棟 63,176,760 円</p> <p>菱海中学校屋内運動場吊り天井落下防止対策事業 ※平成 28 年度へ繰越 50,538,000 円</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>学校施設の耐震化については、学校施設耐震化推進計画を前倒しすることで、Is 値=0.3 未満の施設から優先的・年次的に耐震化への取組を進めてきたところである。</p> <p>本市における公立小中学校の耐震化率は、平成 26 年度当初が 79.6%、27 年度が 95.9%と推移し、国の方針である平成 27 年度末には耐震化率 100%を達成した。</p> <p>平成 28 年度においては、三隅中学校特別教室棟の平成 28 年 7 月末完成を目指し、学校及び関係業者との調整に努める。</p> <p>その他、非構造部材の耐震化への取組として、深川小学校、日置小学校、神田小学校、菱海中学校の屋内運動場吊り天井落下防止工事に着手する。</p>
----------------------------	--

〔 事 業 名 〕 学校施設の耐震化事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震工事での校舎の改修（塗装等）は子どものメンタルにも大きく影響します。安全できれいな教育環境の一層の充実をこれからもよろしく願います。</li> <li>・目標通りに耐震化率 100%を達成。今後も安全・安心な学習環境整備への配慮をお願いしたい。</li> <li>・今後、非構造部材の耐震点検は、学校責任者が責任をもってされると思いますが、専門家や関係部署と連携して定期的、継続的に実施していただきたい。</li> <li>・耐震化工事の期間中、児童も先生方も騒音等で精神的に負担があったと思います。学校側、児童への配慮も併せてお願いします。</li> <li>・耐震化の事業については、順調に推移しており、安心しています。</li> <li>・吊り天井工事の早急な工事完了をお願いします。</li> </ul>
----------------	--

※1 Is 値（構造耐震指標）・・・耐震診断により建物の耐震性能を示す指標で、Is 値 0.6 以上で耐震性能を満たすとされていますが、文部科学省は学校では 0.7 以上に補強するように求めています。Is 値 0.3 未満は大規模な地震（一般的に震度 6 強程度）により倒壊の可能性が高い建物とされています。

番 号	2	主 管 課	教育総務課																						
事 業 名	油谷小学校改築事業																								
施 策 の 課 題	安全・安心な教育を支える環境の整備																								
区 分	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 完了																								
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>油谷小学校の校舎及び屋内運動場は、築後 50 年近くが経過し建物の随所が著しく老朽化している。耐力度も低下し耐震基準を満たしていないため、全面改築を行い、安全・安心な学習環境の整備を図る。</p> <p><b>【計画概要】</b>  児童数：130 人  学級数：普通 6 学級（6 学年×1 学級）／ 特別支援 2 学級  面 積：校舎棟（2 階建） 3,197 m<sup>2</sup>  屋内運動場 986 m<sup>2</sup></p> <p>平成 25 年度から順次工事に着手し、十分な耐震性を有する安全で安心な学校として、また、市有林材を活用した木質化に積極的に取り組む等、地域に開かれた環境にやさしい学校として整備を進めていく。</p>																								
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度（当初）																						
	繰越明許予算 3,169,866 円 (3,169,866 円) 現年度予算 981,291,000 円 (980,680,628 円)	現年度予算 83,294,000 円 (82,895,098 円)	—																						
執 行 率	99.9%	99.5%	—																						
評 価  ( 取 組 状 況 ) ( 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る																								
	<p>平成 25 年 9 月から校舎棟及び屋内運動場・プール建築工事に着手し、平成 26 年 9 月 17 日に完成。同年 10 月 6 日に「授業始め式」を行い校舎等の使用を開始した。その後、旧校舎の解体、グラウンド整備工事等に順次着手した。</p> <p>平成 27 年度にはグラウンド整備工事、体育倉庫・屋外トイレ建築工事等、残りの工事が完了し、平成 27 年 9 月 1 日に竣工式を開催した。</p> <p><b>【平成 27 年度事業実績／26～27 年度債務負担行為設定分】</b></p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>支出額</td> <td>契約額</td> </tr> <tr> <td>グラウンド整備工事等</td> <td>67,742,640 円</td> <td>( 71,375,040 円)</td> </tr> <tr> <td>工事監理業務</td> <td>788,400 円</td> <td>( 788,400 円)</td> </tr> </table> <p><b>【現年度分】</b></p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>支出額</td> </tr> <tr> <td>竣工式関係（消耗品・パンフレット印刷等）</td> <td>271,794 円</td> </tr> <tr> <td>手数料（体育倉庫備品引越作業）</td> <td>194,400 円</td> </tr> <tr> <td>開発行為確定測量業務委託</td> <td>831,600 円</td> </tr> <tr> <td>工事監理等業務委託</td> <td>313,200 円</td> </tr> <tr> <td>校内道路舗装工事等</td> <td>7,800,818 円</td> </tr> <tr> <td>新校舎建設に伴う物品整備（備品）</td> <td>4,952,246 円</td> </tr> </table>				支出額	契約額	グラウンド整備工事等	67,742,640 円	( 71,375,040 円)	工事監理業務	788,400 円	( 788,400 円)		支出額	竣工式関係（消耗品・パンフレット印刷等）	271,794 円	手数料（体育倉庫備品引越作業）	194,400 円	開発行為確定測量業務委託	831,600 円	工事監理等業務委託	313,200 円	校内道路舗装工事等	7,800,818 円	新校舎建設に伴う物品整備（備品）
	支出額	契約額																							
グラウンド整備工事等	67,742,640 円	( 71,375,040 円)																							
工事監理業務	788,400 円	( 788,400 円)																							
	支出額																								
竣工式関係（消耗品・パンフレット印刷等）	271,794 円																								
手数料（体育倉庫備品引越作業）	194,400 円																								
開発行為確定測量業務委託	831,600 円																								
工事監理等業務委託	313,200 円																								
校内道路舗装工事等	7,800,818 円																								
新校舎建設に伴う物品整備（備品）	4,952,246 円																								

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	
----------------------------	--

〔 事 業 名 〕 油谷小学校改築事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すばらしい教育施設にふさわしい備品を完備して下さい。</li> <li>・温みのある木の校舎・省エネやバリアフリー対応等地域に開かれた環境にやさしい施設となっている。地域の誇りとなる校舎での先進的取組に期待する。</li> <li>・校舎が、地域交流ゾーンと融合しているところが素晴らしいと思いました。</li> <li>・換気システムが充実していたが、他の学校についても熱中症などの対策についてのハード面の支援は積極的に進めてほしい。</li> <li>・現地視察において、改めて、環境整備の充実を確認出来ました。</li> <li>・地域の方が利用するスペースもあり随所に工夫が見られる。</li> </ul>
----------------	---

番 号	3	主 管 課	教育総務課									
事 業 名	学校統廃合事業											
施 策 の 課 題	安全・安心な教育を支える環境の整備											
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了											
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>学校の小規模化は、児童生徒の学校における人間関係の固定化、部活動や学校行事等における多様な選択の制限等、教育環境として支障が生じることが想定されるため、平成19年2月策定の「長門市立小中学校適正配置方針」に基づき、統廃合により適正な教育環境が提供できる一定の学校規模の確保を図る。</p> <p>※俵山中学校の深川中学校への統合</p>											
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成26年度	平成27年度	平成28年度(当初)									
	—	6,967,000円 (6,871,855円)	410,000円									
執 行 率	—	98.6%	—									
評 価  ( 取 組 状 況 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標を下回る											
	<p>【H27年度実績】</p> <p>平成28年4月の統廃合に向けて、俵山の保護者と具体的な協議を重ね、俵山中の生徒が円滑に深川中へ移行できるよう各般にわたり準備を行った。</p> <p>また、俵山地域住民に親しまれてきた中学校の閉校にあたり、地域住民からなる実行委員会による各種記念事業の経費の補助を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>制服等の買換に対する補助</td> <td>658,625</td> </tr> <tr> <td>スクールバス購入</td> <td>5,145,098</td> </tr> <tr> <td>セカンドカーリース(1ヶ月)</td> <td>31,212</td> </tr> <tr> <td>自賠償、重量税</td> <td>36,920</td> </tr> <tr> <td>閉校記念事業への補助 ○閉校式典(3/27) ○記念誌等作成○歌舞伎東京公演支援○一位ヶ岳記念碑建立登山 など</td> <td>1,000,000</td> </tr> </table> <p>【協議等の日程】</p> <p>7/29 俵山中学校の統廃合に係る保護者会役員との意見交換会 1/30 俵山中学校の統廃合に伴う説明会</p> <p>【両校生徒交流】</p> <p>4/21、10/28 11/9～11/10、1/18～1/22 3/23</p>			制服等の買換に対する補助	658,625	スクールバス購入	5,145,098	セカンドカーリース(1ヶ月)	31,212	自賠償、重量税	36,920	閉校記念事業への補助 ○閉校式典(3/27) ○記念誌等作成○歌舞伎東京公演支援○一位ヶ岳記念碑建立登山 など
制服等の買換に対する補助	658,625											
スクールバス購入	5,145,098											
セカンドカーリース(1ヶ月)	31,212											
自賠償、重量税	36,920											
閉校記念事業への補助 ○閉校式典(3/27) ○記念誌等作成○歌舞伎東京公演支援○一位ヶ岳記念碑建立登山 など	1,000,000											

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>教育委員会は、適正規模の教育環境を担保するため「長門市立小中学校適正配置方針」に基づき過小規模校の統廃合に取り組んできたが、平成 27 年度の俵山中学校の統廃合をもっていったん区切りがついたところである。</p> <p>平成 28 年度は、俵山中統廃合関係予算としては、部活動決定後に必要となるユニフォーム等の買換補助や、別事業に計上しているが、児童養護施設在籍生徒への対応として学校生活支援補助金交付事業を実施する。</p> <p>また、統廃合後の校舎の利活用、管理が課題となっており、俵山中については、地域の利用が決定しているが、他の校舎等についても、安全面との兼ね合いで処分も視野に入れつつ対応していきたい。</p>
----------------------------	--

〔 事 業 名 〕 学校統廃合事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閉校となった学校利用そして備品が有効活用されているのでしょうか。よく地域の方と意見交換し新たな活用を検討して下さい。</li> <li>・「適正配置方針」に基づく統廃合事業に一旦区切りのついた所で、今後の児童生徒数推移を見据えた方針の総括をお願いしたい。</li> <li>・児童の減少により統廃合による適正な教育環境の確保は必要であると思うが、それにより地域の衰退も加速すると思われます。また、コミュニティスクール等今目指している教育環境は、小規模校だから実現できることではないか。小規模ながらも学校が存続できる長門市らしい事業転換を期待しています。</li> <li>・「目標を下回る」となっているが、学校の統廃合については、複雑多岐にわたる要素も絡んでおり「目標どおり」としても良いのではないかと思う。</li> <li>・俵山の通学距離もあり交通の安全と悪天候時の対策を十分とっていただきたい。</li> </ul>
----------------	--

番 号	4	主 管 課	教育総務課
事 業 名	学校給食センター運営管理事業		
施 策 の 課 題	安全・安心な教育を支える環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>長門市学校給食運営方針に基づき、平成 22 年 9 月に開設した長門市学校給食センターを中心に、学校給食の衛生管理の向上と高質で安全・安心な給食の提供を図る。</p> <p>また、将来的な本市の学校給食施設の 1 センター化を検討する中で、段階的にその取組を進めていく。</p> <p>【施設】 長門市学校給食センター（2,340 食/日） 対象：15 校 ※配送業務直営 日置学校給食センター（260 食/日） 対象：2 校</p> <p>【会議等】 学校給食運営委員会（長門市センター2 回、日置 2 回）、 献立作成委員会（11 回）、物資選定委員会（1 回）</p>		
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (当初)
	208,654,000 円 (204,629,361 円)	208,023,000 円 (198,202,966 円)	209,216,000 円
執 行 率	98.1%	95.3%	—
評 価  ( 取 組 状 況 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>【27 年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食数 長門市学校給食センター 2,340 食 (H26 2,380 食) 日置学校給食センター 260 食 (H26 290 食)</li> <li>・給食日数 195 日</li> <li>・給食費 現行、小学校 255 円、中学校 290 円</li> <li>・事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 食物アレルギーへの対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>除去食・代替食 長門市学校給食センター 61 人 日置学校給食センター 12 人</li> </ul> </li> <li>イ 食に関する指導目標の推進 2 名の栄養教諭と 1 名の学校栄養職員で 17 校を担当</li> <li>ウ 地産地消の推進 人参、ジャガイモ、玉ねぎ、キャベツの 4 品 地産地消率 全体 県内産/84.7%、市内産/47.6% 長門 県内産/82.7%、市内産/45.7% 日置 県内産/86.6%、市内産/49.5%</li> <li>エ 施設見学会、試食会の開催 見学会 7 回 210 人</li> <li>オ ながと食の日 (毎月 1 回実施)</li> <li>カ 長門市と下関市で「学校給食・くじら交流の日」を実施 H28.2.3</li> </ul> </li> </ul>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>児童生徒の減少等に伴う給食事業の効率的、効果的な運営を図るため、学校給食施設の1センター化に向けて、深川中学校の給食調理場を平成25年度末で閉じ、平成26年4月長門市学校給食センターに統合した。</p> <p>今後は日置学校給食センターとの1センター化に向け、安全安心な給食提供をすることができる環境面の整備に向けた検証作業に努めていくとともに更なる衛生管理の徹底と作業効率を維持していくため、職員の業務意識の向上を図るとともに、創意工夫と日々の課題整理により安全で安心な給食の提供に努めていく。</p> <p>また、地産地消への取組は、収穫率の低い作物（ジャガイモ、人参）や新たな品種の作付面積の拡大に取り組む等、関係機関（県農林事務所・市農林課・JA長門大津・生産団体等）との連携により、栽培奨励に努めるとともに地産食材の使用量増加を図る。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 学校給食センター運営管理事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べさせたい給食めざしていろいろと工夫されている調理員さんに頭が下がります。子どもが楽しみにしている給食です。よろしくをお願いします。</li> <li>・食物アレルギーによる除去・代替食対象者増加への対応に努力が伺える。今後とも安全・安心な食の提供に努めていただきたい。</li> <li>・食物アレルギーのある児童・生徒についてはきめ細やかな配慮がされていることと無事故であるということで職員の方々の安全意識の高さがうかがえます。引き続き、全部の児童生徒が安全安心で楽しい給食時間を過ごせるよう取り組んでいただきたいと思います。</li> <li>・今後とも「地産地消」の取組を積極的に推進してもらいたい。</li> <li>・地産地消の取り組みの継続といろいろな品目を取り上げていただきたい。また食材が地産されたものが生徒に伝わるようお願いしたい。</li> </ul>
----------------	--

番 号	5	主 管 課	教育総務課
事 業 名	通学支援事業		
施 策 の 課 題	安全・安心な教育を支える環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>スクールバスを運行（旅客自動車運送事業所に委託し実施）し、学校統廃合により廃校となった小中学校の児童生徒の遠距離通学に係る条件緩和と登下校時の安全確保を図る。</p> <p>また、小学生については概ね4km以上、中学生については概ね6km以上通学距離のある児童生徒に対し、通学に要する費用等を補助し、自転車通学が認められている児童生徒については、ヘルメット購入費を補助する等の支援を行い、通学条件の緩和と保護者の負担軽減を図る。</p>		
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (当初)
	39,354,205 円 (37,497,397 円)	39,988,000 円 (37,210,990 円)	50,007,000 円
執 行 率	95.3%	93.1%	—
評 価  ( 取 組 状 況 ) ( 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p><b>【27年度実績】</b></p> <p>①スクールバス運行事業 ※事業費 35,223,138 円  上記事業費のうち、運行管理業務委託料（2社）は29,843,100円  青海島地区～仙崎小 26人・仙崎中 8人 運行台数 2台  真木・渋木地区～深川小 16人・深川中 6人 運行台数 2台  油谷各地区～油谷小 57人・菱海中 29人 運行台数 4台  保護者、学校、受託業者、教育委員会の4者で定期的に運行協議会を開催し情報交換を行うことで、児童生徒の安全安心な移送を図っている。</p> <p>②その他通学支援 ※事業費 1,987,852 円  児童通学費等補助 1,768,852 円（交付対象 49人）  自転車通学児童用ヘルメット購入費補助 0 円（〃 0人）  生徒通学費等補助 82,500 円（〃 3人）  自転車通学生徒用ヘルメット購入費補助 136,500 円（〃 89人）</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>スクールバス運行管理業務については、業務価格の抑制及び地域雇用の安定確保という観点から、また、子ども達の安全・安心な移送のためには業者が度々替わるのは好ましくないとの保護者からの意見もあったことから、平成 25 年度から 3 年間の長期継続契約とした。</p> <p>通学支援に係る補助は、地区によって基準等に差異があるが、旧市町において行われた学校統廃合の条件をもとに定められたものであるため、市町合併時にそのまま新市に引き継がれたという経緯があることから、通学費等補助及びスクールバスの利用による通学支援の対象となる基準等の統一に向けた補助率や対象距離等の課題について、児童生徒の通学事情を十分踏まえ、今後も引き続き慎重に検討していく。</p>
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 通学支援事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただ運行するだけでなく子ども達の様子等さまざまな事にきめ細かい配慮をしていただきありがたい次第です。これからもよろしく申し上げます。</li> <li>・義務教育における通学支援・補助について、合併した上は過去の経緯や条件に縛られることなく新しい方針・基準を策定していただきたい。</li> <li>・通学費補助について、地区により不公平感のないようにお願いしたいと思います。</li> <li>・今後とも安全第一（自宅からバスへの乗車、下車から帰宅までを含めて）の指導の徹底をお願いしたい。</li> <li>・今後も利用される方々の意見も踏まえ安全に運行されることをお願いいたします。</li> </ul>
----------------	---

番 号	6	主 管 課	教育総務課
事 業 名	学校教育の情報化事業		
施 策 の 課 題	質の高い教育を支える環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>小中学校の情報教育用パソコンを計画的に更新し、情報教育環境を充実させることにより、情報教育の向上と円滑な推進を図り、児童生徒の情報活用能力を育成する。</p> <p>また、各学校のコンピューター室における教育用パソコンの台数については、児童生徒一人につき1台が整備済みであり、教職員の校務用パソコンについても教職員一人につき1台の整備を平成25年度に完了した。</p> <p>パソコンについて、リース方式により概ね5年毎に機器の更新を行いながら、電子黒板などの周辺機器の整備も推進していく。</p>		
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成26年度	平成27年度	平成28年度(当初)
	29,383,000円 (29,381,505円)	30,381,000円 (30,315,047円)	32,807,000円
執 行 率	99.9%	99.8%	—
評 価  ( 取 組 状 況 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p><b>【27年度実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育用パソコン(更新) 俵山小学校(14台)、向津具小学校(15台)</li> <li>・教育用パソコン(継続) 俵山小、向津具小以外の小中学校 413台</li> <li>・校務用パソコン(継続) 市内小中学校 272台</li> </ul>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>平成 28 年度においては、小学校 3 校、中学校 1 校の教育用パソコンの更新を行うこととしているが、国が定めた「教育の情報化ビジョン」にそった形でタブレット型端末の導入を行うこととしている。</p> <p>導入初年度であり、現場の意見、他自治体の動向など参考にしながら、児童生徒の学習活動に資するよう、必要な端末、ソフトを選定し、また、利用に支障がないよう周辺環境の整備もあわせて取り組んでいく。</p>
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 学校教育の情報化事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報教育・管理に万全を期していただきたい。</li> <li>・教育用・校務用PCとも整備が完了し、さらにタブレット型端末導入段階にきている。整備に伴う現場での効果的活用を望む。</li> <li>・学校システムに不正アクセスし、情報ファイルが漏洩されるという事件もありました。万全なセキュリティ対策と、速やかな対応ができるようお願いしたいと思います。</li> <li>・導入にあたっての、端末・ソフト等の選定に対しては透明性を確保してもらいたい。</li> <li>・情報機器が高レベルであり、それを運用し活用する高い技術やモラルを教育していただきたい。過疎地域ほど情報の先端地であってほしい。</li> </ul>
----------------	--

番 号	7	主 管 課	学校教育課
事 業 名	長門市学校教育研究大会事業		
施 策 の 課 題	質の高い教育を支える環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>平成24年度に全ての小・中学校をコミュニティ・スクールに指定し、公民館を中心とした地域協育ネットと両輪で、地域総がかりの学校教育を推進している。さらに、各中学校区を「〇〇みすゞ学園」として、小・中学校が密に連携しながら9年間のつながるカリキュラムづくりを進めるなどの小中一貫教育を推進している。</p> <p>本市がめざす「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育による学校づくり」を推進するために、本研究大会では、学校運営協議会委員や保護者にも参加を呼びかけ、講演や事例発表、熟議等の研修を実施する。</p>		
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成26年度	平成27年度	平成28年度(当初)
	304,000円 (294,814円)	321,000円 (275,920円)	281,000円
執 行 率	97.0%	88.7%	—
評 価  ( 取 組 状 況 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>学校教育基本方針である「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育による学校づくり」の理念について、教職員や保護者、地域住民の理解が深まってきており、学校課題の解決や教育活動の充実に結びつきつつある。</p> <p>学校・家庭・地域が一体となった取組がより充実深化するように、長門市学校教育基本方針について、再度理解を深めるための研修を実施した。</p> <p>教職員からは、校長が学校運営協議会に教職員を参画させようとしていることや、小中合同研修会で小中一貫カリキュラムづくりを行っている理由が改めてよく理解できたなどの意見が多く寄せられた。</p> <p>○開催日時、場所：11月5日(木)午後 ラポールゆや</p> <p>○市内各小中学校から出品展示作品：45作品</p> <p>○課長所管説明：長門市学校教育基本方針について</p> <p>○講演及び講評：教育再生実行会議 主査 貝ノ瀬滋 氏</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>本市の学校教育基本方針に基づいた学校づくりが進むように、学校現場に出向いて、各校、各学園の成果と課題を把握しながら、指導や支援を継続する。</p> <p>平成28年度については、重点目標に目を向け、特に、睡眠を中心とした生活習慣づくりを推進するための研修の場としたい。</p>
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 長門市学校教育研究大会事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時宜を得た研修内容で教職員の質や地域力の向上をめざしており素晴らしい事業だと思う。</li> <li>・市の学校教育基本方針への理解を深め、地域総がかりの教育を推進するという研究大会のテーマが鮮明化されており、成果を共有しやすくなっている。</li> <li>・小中一貫教育を目指す取り組みとコミュニティ・スクールについて、保護者にはまだ周知できていないのでは。</li> </ul> <p>保護者や地域の方々にも、もっと浸透するような取り組みができるとよいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みが市民に見えるように、より一層地域の皆様方に浸透するような取り組みが必要。</li> <li>・保護者に認知度や達成度が伝わっているだろうか。</li> </ul>
----------------	--

番 号	8	主 管 課	学校教育課
事 業 名	コミュニティ・スクール推進事業		
施 策 の 課 題	地域で子どもたちを育てる環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>市内 17 小中学校全てに設置している学校運営協議会の目的は、学校と保護者・地域が一体となって「より質の高い学校づくり」と「安心安全で児童生徒がよりよく成長できる学校づくり」をめざすことである。</p> <p>各学校運営協議会の会議資料の作成費を補助するとともに、研修を通して運営協議会委員の資質の向上を図ることで、より質の高い学校づくりを目指す。</p>		
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (当初)
	693,000 円 (489,307 円)	316,000 円 (242,144 円)	306,000 円
執 行 率	70.6%	76.6%	—
評 価  ( 取 組 状 況 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>学校・家庭・地域で核となる人材の育成を目的として、下記の研修会に参加した。</p> <p>○地域教育力日本一研修会 (本市から 20 名参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年 6 月 13 日 (土) 山口南総合センター</li> <li>・内容 講演 (教育再生実行会議 貝ノ瀬主査) 熟議</li> </ul> <p>○やまぐち地域連携教育研修会 (萩会場) (本市から 48 名参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年 8 月 21 日 (金) 萩市民館</li> <li>・内容 事例発表 (椿東小 深川小 阿武中) 指導助言</li> </ul> <p>○山口県コムスク推進フォーラム (本市から 39 名参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年 12 月 19 日 (土) 防府市公会堂</li> <li>・内容 実践発表 基調講演 (慶應義塾大学 金子教授)</li> </ul> <p style="text-align: center;">パネルディスカッション</p> <p>国や県の動向や他市町の取組状況を知ることができ、有意義な研修であった。また、コミュニティ・スクールと公民館を中心とした地域協育ネットが両輪となって進める本市の教育方針について、理解を深めることができた。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>市外での研修であるために、参加できる委員が限られている。平成28年度は、やまぐち地域連携教育研修会が長門会場（ラポールゆや）であることから、広く参加を呼びかけたい。また、内容についても県や萩市・阿武町と協議しながら充実したものにしたい。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 コミュニティ・スクール推進事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画一的にならず各地域の事情を考慮した特色ある活動で学校づくりを進めて欲しい。</li> <li>・学校運営協議会委員の意識は高まってきているが、現状への戸惑いも隠せない。具体的な取組を共有した上で各校の独自性を発揮できるような研修の場を設定できないか。</li> <li>・研修会は多く行われるが、具体的な動きに繋がるような仕掛けが必要であると思う。</li> <li>・事業の今後の更なる充実を期待。</li> <li>・今年度、長門での研修会の情報を早めに周知してもらいたい。</li> <li>・H28は長門が会場ということで、多くの方が参加されることを期待する。</li> </ul>
----------------	--

番 号	9	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	地域協育ネット事業		
施 策 の 課 題	地域で子どもたちを育てる環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>公民館を中心とした地域の多様な教育資源を教育現場で積極的に生かすため、社会教育団体等が行う地域活動への参加を通して子どもたちの体験活動を充実させている。</p> <p>中学校区をひとまとまりとした、地域ぐるみで子どもを育む仕組みづくりを推進する。</p> <p>【目標】地域総ぐるみで子どもを育てることで、子どもたちの「生きる力」を育むとともに、地域住民の生きがいつくりにつなげる。</p>		
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (当初)
	158,000 円 (148,101 円)	209,000 円 (204,040 円)	203,000 円
執 行 率	93.7%	97.6%	—
評 価  ( 取 組 状 況 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>指定協力校区（深川中学校区・俵山中学校区・菱海中学校区）において、公民館型の地域協育ネットにより、校内・校外支援を行い、学校・家庭・地域が連携した活動に取り組まれており、地域総ぐるみで子どもを育てる気運が高まり、地域の活性化にもつながっている。</p> <p>なお、平成 28 年 9 月 8・9 日に山口市にて開催される、第 38 回全国公民館研究集会山口県大会において、萩・長門地区を代表して油谷中央公民館山本館長がこれまでの取組を含めた事例発表を行う。</p> <p>○指定協力校区 学校等を拠点とした教育支援活動実績</p> <p>深川中学校区 延べ 324 日</p> <p>俵山中学校区 延べ 80 日</p> <p>菱海中学校区 延べ 307 日</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>指定協力校区での実践を参考に、公民館職員がコーディネーターとなる公民館型の地域協育ネットを、市内各中学校区において引き続き取り組む。</p> <p>また、各公民館において地域内の人材バンクを整理し、それぞれが連携できるように引き続き取り組んでいく。</p>
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 地域協育ネット事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関がよく連携して顔の見えるつながりを構築して地域力を高めて欲しい。</li> <li>・様々な行事を通して感謝や愛情といった徳育を醸成できるすばらしい事業である。</li> <li>・公民館型地域協育ネットにより、子どもたちの体験活動は充実してきている。地域住民の生き甲斐づくりに繋がっているかの検証も必要。</li> <li>・今後、地域ぐるみで子供を見守り育てていく仕組みの構築とその有効な活用は一層求められてくると思う。公民館の活かし方がこれから重要になってくるように思うので、引き続き推進してほしい。</li> <li>・取り組みの継続と深化のため、今まで以上に地域の方々への働きかけが必要と思う。</li> <li>・公民館館長、学校がよく連携して活動されている。</li> </ul>
----------------	---

番 号	10	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	家庭教育支援事業		
施 策 の 課 題	地域で子どもたちを育てる環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>小・中学校及び保育園、幼稚園に家庭教育学級を開設し、学級運営に役立つ研修会や意見交換会の実施及び幼児期の学習支援、相談事業を実施している。</p> <p>【目標】 家庭の教育機能の向上と幼児・児童・生徒の健全育成</p>		
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (当初)
	539,000 円 (427,760 円)	539,000 円 (416,800 円)	545,000 円
執 行 率	79.4%	77.3%	—
評 価  ( 取 組 状 況 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>各家庭教育学級では、学級生の確保や講座の内容について苦勞されながらも、市の補助基準に沿って確実に実施されているところである。</p> <p>(小学校 11 校、中学校 6 校、幼稚園 2 園、保育園 2 園 実施)</p> <p>意見交換会や合同研修会など家庭教育学級生の学習会を開催したことにより、学級の運営について理解が深まり、工夫された運営につながった。</p> <p>また、家庭教育学級の活動を理解していただくために、就学時健診時に家庭教育アドバイザー有資格者による説明会を、平成 26 年度より実施している。幼稚園・保育園に対しては、年度末に子育て支援課が開催する幼保園長会議において説明を実施している。</p>		

<p>課題と今後の取組</p>	<p>幼稚園及び保育園における学級開設に向け、園長会議に参加し説明を行い、活動を支援する。</p> <p>質の高い学級運営をしていただくために、必要に応じて個別指導や学級が運営する行事に家庭教育担当の社会教育指導員が積極的に参加し、学級（学校）との良好な関係を築く。</p>
-----------------	---

〔事業名〕 家庭教育支援事業

<p>外部評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の教育力向上めざした活動内容か疑問です。発展的に考え地域協育ネット事業に統合すればどうでしょう。</li> <li>・幼保において学級開設が進んでいることは喜ばしい。学級生の企画運営による参加しやすい学級となるよう支援していただきたい。</li> <li>・就学時健診時の家庭教育アドバイザーや家庭教育学級長による説明会は、わかりやすくよかったと聞いているので、今後も続けてほしいと思います。</li> <li>・幼稚園・保育園における学級開設については、幼保の先生方の今以上の負担を増やさないよう、家庭教育アドバイザーや生涯学習スポーツ振興課の協力が必要です。</li> <li>・大切な事業ではあるが、理解・浸透については疑問がある。 内容の精査と、時代に即した事業内容とすべき。</li> <li>・より充実したものにしていただきたい。</li> </ul>
-------------	--

番 号	1 1	主 管 課	学校教育課
事 業 名	「確かな学力」育成サポート事業		
施 策 の 課 題	知識、思考力・判断力・表現力、学習意欲等の「確かな学力」の育成		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>児童生徒の学力向上に向け、より質の高い授業を提供することが重要である。そのために、教員を先進的な取組を行う学校への視察や研修会参加させ、校内での実践に役立てるとともに、市内の学校にも還元する。</p> <p>さらに、学力向上プラン検討会を開催し、授業改善、学習習慣づくり、補充学習などの取組を充実させることで、児童生徒の学力の向上を図る。</p>		
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (当初)
	1,400,000 円 (1,064,468 円)	638,000 円 (471,036 円)	638,000 円
執 行 率	76.0%	73.8%	—
評 価  ( 取 組 状 況 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>市内各中学校区から1名ずつ計6名が、学力向上に向けた研修視察を行い、各校の児童生徒の課題解決に向けた授業づくりを行っている。</p> <p>視察先・滋賀大学教育学部附属中学校（仙崎小）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金沢大学人間社会学域学校教育学類附属小学校（深川小）</li> <li>・広島市立古田台小学校・広島市立白島小学校（明倫小）</li> <li>・館山小学校・湘南学園小学校（日置小）</li> <li>・岡崎市立連尺小学校・関ヶ原町立関ヶ原小学校（油谷小）</li> <li>・埼玉県熊谷市立熊谷東中学校・戸田市立笹目中学校（俵山中）</li> </ul> <p>視察を行った教員は、所属校の校内研修で報告や授業公開等により広く還元方策を行った。また、各校の成果を冊子にしたものを市内全小・中学校に配付した。</p> <p>学力向上プラン検討会では各校の担当教員が参加し、情報交換や協議によって自校の授業づくりの改善に役立てている。</p> <p>○1回目（5月15日）</p> <p>演 題：管理職の戦略をもとにした学力向上の取組について</p> <p>指導者：山口大学教育学部特命教授 池田 廣司 氏</p> <p>○2回目（12月25日）</p> <p>先進校視察の報告をするとともに、各校の取組状況を発表、協議した。</p> <p>本市が目指す「わかる・できるを実感できる授業づくり」の考え方が浸透するとともに、分からないことを積み残したままにしないための補充学習がどの学校でも行われるようになるなどし、市全体の学力が向上しつつある。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>授業改善や校内研修の充実に結びつく研修先を選定するように指導を継続する。</p> <p>授業改善や学力定着に向けた取組は充実しつつあるが、学校や教員によって意識や取組に差がある。学力向上プラン検討会では、研修や情報交換にとどまることなく、各校の課題解決に向けた具体的な取組につながる検討会をしたい。</p>
----------------------------	--

〔事業名〕 「確かな学力」育成サポート事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方の研修視察、有意義だと思います。</li> <li>・学力向上は「徳育」「体育」と密接に関連しています。心が育たないと真の学力も身につけませんのでしっかり道徳心を涵養する教育も進めて下さい。</li> <li>・「わかる・できるを実感できる授業」を求める上で、授業構築の技術向上とともに学びの意欲を喚起する学習集団づくりにも力を注いでいただきたい。</li> <li>・教員によって意識や取り組みに差があるのは残念です。</li> <li>・学力向上プランについては、一時的に詰め込んで、その後すぐ忘れてしまうような知識の習得ではなく、後から活用できる知識・技能の修得が必要ではないか。決まった答えを教員が教えるのではなく、生徒が答えを見つけたら発見したり、そういったプロセスが大事ではないかと思います。</li> <li>・今年度の対平均値（国及び県）の情報提供が出来ればお願いしたい。</li> <li>・より高い質に上げていただき視察が来ていただけるようになってほしい。この活動による効果が実感できるものであってほしい。</li> </ul>
----------------	---

番 号	12	主 管 課	学校教育課
事 業 名	研究指定校補助事業		
施 策 の 課 題	知識、思考力・判断力・表現力、学習意欲等の「確かな学力」の育成		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>各学校からの応募申請に基づき、本市教育推進にふさわしい研究に対して、研究指定を行う。</p> <p>学力向上、みすゞ教育（心の教育）、特別支援教育を視野に入れた研究課題を設定し、全ての領域において研究及び実践を推進し、その成果を本市小・中学校に広める。</p>		
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (当初)
	800,000 円 (800,000 円)	800,000 円 (800,000 円)	600,000 円
執 行 率	100.0%	100.0%	—
評 価  ( 取 組 状 況 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成27年度：8校を指定</p> <p>(1) 学力向上 【通小・向陽小・向津具小・深川中】 400千円</p> <p>(2) 心の教育 【仙崎中・菱海中】 200千円</p> <p>(3) 特別支援教育【深川小・日置中】 200千円</p> <p>通小や向津具小では、複式や少人数であることを生かした学習指導のあり方を研究し実践されるなど、指定校においては、計画的に実践が行われ、各学校の課題に応じた研修が行われた。その成果として、学力向上やみすゞ教育等各領域の推進につながった。</p> <p>取組についての成果還元方策として、指定校の成果物である研究集録を市内各校に配付した。また、指定校によっては、公開研究会を開催し、参加者に成果を普及する取組がみられた。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>全ての領域において研究が行われた。 各校の課題や児童生徒の実現状況を見極めながら、その研究課題に即した領域や予算額等を設定していく必要がある。</p>
----------------------------	--

〔 事 業 名 〕 研究指定校補助事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校での研修で欠かせない補助事業です。全校に配付できないものでしょうか。</li> <li>・研究成果の還元としては、実施校も参加者も気軽にのぞめる公開研究会に期待する。</li> <li>・指定校の成果を普及する取り組みが見られたことは、高く評価したい。今後は、コミュニティ・スクールの領域での応募に期待している。</li> <li>・評価（成果）として、数値化出来るものがあれば示してもらいたい。</li> <li>・研究課題、成果が広く共有、普及されてよいと思う。</li> </ul>
----------------	--

番 号	13	主 管 課	学校教育課
事 業 名	防災教育推進事業		
施 策 の 課 題	知識、思考力・判断力・表現力、学習意欲等の「確かな学力」の育成		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>地域防災の充実や担い手の育成を目標として、平成24年度から市内各中学校の代表生徒（中学2年生）を募り、夏季休業中の3日間で被災地である宮城県南三陸町の視察や防災訓練参加等を行ってきた。</p> <p>平成27年度は、被災地の中学生を本市に招いて、市内各中学校の代表生徒（2・3年生）と地域防災についての熟議を行った。</p>		
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成26年度	平成27年度	平成28年度（当初）
	1,955,000円 (1,616,299円)	886,000円 (857,729円)	2,118,000円
執 行 率	82.7%	96.8%	—
評 価  ( 取 組 状 況 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>○実施日 平成27年8月6日（木）</p> <p>○実施場所 俵山公民館</p> <p>○参加者 宮城県南三陸町の中学生9名 長門市内の中学生24名（各校4名） 中学校の教員、公民館職員、防災危機管理課</p> <p>○研修内容 ・南三陸町の防災教育の説明 ・熟議（自分たちが取り組む地域防災）</p> <p>参加した生徒たちは、南三陸町の生徒たちが、高い意識を持って地域防災に取り組もうとしていること、未だに仮設住宅で暮らしている生徒がいること等を知ることができた。</p> <p>また、地域の人たちと一緒に防災について考えたり訓練をしたりしたい、地域防災の担い手として何か役に立ちたいという感想が多く見られた。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>これまでの事業によって、中学生の意識は高まったが、地域を巻き込んだ活動に発展させることが課題である。</p> <p>本事業は平成29年度までの事業である。平成28年度は中学生を南三陸町に派遣し、平成29年度は、南三陸町の生徒を本市に招いて、地域を巻き込んだ防災活動に発展させるための研修や熟議を行いたい。</p>
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 防災教育推進事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考は行動のリハーサルといわれるようにいざという時のイメージトレーニングはとても大切です。</li> <li>交流を通して得た知識が生かされるよう事後研修にもっと力を入れ防災意識を高めて欲しい。</li> <li>・中学生が防災の担い手としての役割を自覚して行動できると心強い。そのための体制づくりに尽力していただきたい。</li> <li>・学校施設が指定避難場所になっているので、学校を拠点として地域を巻き込んだ防災訓練なども積極的に取り組んでほしい。</li> <li>・地域を巻き込んだ活動が、一層大切になる。早急に計画に取り組むべきと思う。</li> <li>・今年度、熊本での震災があり、防災への意識、教育をより推進していただきたい。</li> </ul>
----------------	--

番 号	14	主 管 課	学校教育課
事 業 名	子ども教育ゆめ基金海外派遣事業		
施 策 の 課 題	知識、思考力・判断力・表現力、学習意欲等の「確かな学力」の育成		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>グローバル化する社会において、英語でのコミュニケーション能力が重要度を増していることに鑑み、基礎から一歩進んだ実践的な英語のコミュニケーション能力を養う場を提供するため、市内中学生を派遣する。</p>		
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (当初)
	1,478,000 円 (1,304,780 円)	1,479,000 円 (1,354,980 円)	1,413,000 円
執 行 率	88.3%	91.6%	—
評 価  ( 取 組 状 況 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成 27 年度：応募生徒 8 名 派遣人数 2 名 (中学 3 年生 2 名) ○研修先 カナダ (バンクーバー) ○研修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語研修…夏休み中のフレーザー大学を研修場所として、国際クラスごとに分かれて英語のレッスンをを行う。</li> <li>・アクティビティ …カヤック等を通して、世界各国から参加している友だちと交流を深める。</li> </ul> <p>□日程 平成 27 年 7 月 26 日～8 月 10 日 参加した生徒 2 名による事後の評価は、派遣先、研修内容等最高評価をつけており、この機会を日頃の学習に活かしたいと考えている。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>一人あたりの経費が高額であるために、2名しか派遣することができない。各校から1名ずつ派遣できるようにしたい。山口県が経済交流を推進しているベトナム国に派遣できるよう準備を進める。</p> <p>また、部活動があるため、参加しにくい生徒もいるのが実情であり、本事業の価値づけをしっかりと各校へ知らせながら、日程等についても検討していきたい。</p>
----------------------------	--

〔 事 業 名 〕 子ども教育ゆめ基金海外派遣事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバルな感覚を身につけるすばらしい事業です。すべての生徒が支障なく参加希望できる日程は無理でしょうか。（3年生最後の部活動大会前→大会後）</li> <li>・今後各校から1名派遣と枠が広がったことは喜ばしい。参加者が成果を後輩に伝えていくことで、より多くの生徒の実践的英語コミュニケーション能力向上につながるよう期待する。</li> <li>・よい事業なので是非継続してもらいたいし、少しでも多くの生徒にチャンスを与えてほしい。体験者の成果を発表する場があればいいと思う。</li> <li>・周知・広報活動が不足しているのではないか、趣旨に鑑み、派遣先は非常に大切な要素と思う。</li> <li>・一歩進んだ英語教育を少数だけが経験するだけでいいのか。違う取り組みも考えてもよいのではと思う。</li> </ul>
----------------	--

番 号	15	主 管 課	学校教育課
事 業 名	教育支援センター事業		
施 策 の 課 題	規範意識を養い、豊かな心と健やかな体づくり		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>社会情勢が急激に変化する中で、本市においても、心に悩みを抱えている児童生徒や不登校の児童生徒が増加傾向にある。そこで、教育委員会内に設置された「教育支援センター」で教育相談員等が電話や来所、訪問による相談にできる限り対応するとともに、不登校児童生徒・保護者・教職員への教育支援活動を行う。</p>		
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (当初)
	5,797,000 円 (5,658,736 円)	5,622,000 円 (5,537,783 円)	5,959,000 円
執 行 率	97.6%	98.5%	—
評 価  ( 取 組 状 況 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>「教育支援センター」の相談対応の年間延べ件数は、電話対応も含めて、227件(26年度は152件)であった。通室児童生徒の支援だけでなく、保護者・教職員からの相談が多い。学校や関係機関との密接な連携により、不登校児童生徒が大幅に減少するとともに、学校に復帰できたり高校進学ができた生徒も増加している。このような実績から、「教育支援センター」への信頼は増している。</p> <p>不登校児童生徒 平成24年度 小学生1人、中学生23人 平成25年度 小学生2人、中学生23人 平成26年度 小学生3人、中学生15人 平成27年度 小学生2人 中学生15人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校、ひきこもり状態から通室できるようになった生徒 8名</li> <li>・通室により学校への登校ができるようになった生徒 2名</li> <li>・通室により高校進学に至った生徒 3名 (公立・私立高校 2名、通信制高校 1名)</li> </ul>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>学校と家庭・関係機関との連携を一層図り、個々のニーズに対応できる支援体制を構築していくことが求められる。</p> <p>家庭環境の問題等、学校だけでは解決が難しいケースが少なくない。各校の教員はもとよりスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、子育て支援課などとのネットワークの構築を進めていきたい。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 教育支援センター事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに適した支援を学校とよく連携し、協働して行って欲しい。</li> <li>・センターへの相談件数の増加、不登校児童生徒数の大幅減少、高校進学実績と成果が着実に上がっている。今後とも各関係機関とのネットワークを密にして問題を抱える子どもたちや保護者に寄り添っていただきたい。</li> <li>・不登校児童生徒が減少しているので一定の成果が見られるが、家庭環境が抱える問題が影響している場合も少なくない。地域の民生委員との連携など、総合的な支援体制づくりが必要。</li> <li>・（「目標を上回る」と評価しても良いと思います。）非常に大切な事業で、今後も更なる充実を図ってもらいたい。</li> <li>・昨今、学校に行けないと聞く子供をよく耳にする。相談場所、かけこみ寺のように安堵できる場所があることが心の教育の先進地と感じる。こういう取り組みを重点において進めてほしい。</li> </ul>
----------------	---

番 号	16	主 管 課	学校教育課
事 業 名	いじめ問題に係る教育相談事業		
施 策 の 課 題	規範意識を養い、豊かな心と健やかな体づくり		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>深刻化するいじめ問題や不登校問題等の解決に向け、関係機関が連携して解決に向けて努力しているが、本市においても、いじめ問題や不登校問題は現存している。そのため、市としてこれを重要課題として位置付け、教育相談員（臨床心理士）1名を配置し、児童生徒や保護者・教職員の相談にあたり、各事例の改善を図る。</p>		
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度（当初）
	840,476 円 (812,249 円)	939,000 円 (877,790 円)	2,543,000 円
執 行 率	96.6%	93.5%	—
評 価  ( 取 組 状 況 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>教育相談員が、子どもの心の問題や親の悩み等の解決にあたり、個々の対応で児童生徒及び保護者の心の安定が図られた事例が多い。特に、発達障害にかかる不登校に関する親の相談等、専門的な知見からの助言は効果的である。</p> <p>以下に示す相談対応件数以外にも、「教育支援センター」との連携を図り、的確な助言により、学校の組織的な対応に貢献している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談対応件数 47件 (不登校、登校渋り、いじめ、友人関係、発達障害、性格、病気など)</li> <li>・教育支援センター会議 6回</li> </ul>		

<p>課題と今後の取組</p>	<p>人間関係づくりに困難が見られる事案、発達障害に起因する事案や家庭環境により解決に時間を要する事案など、継続的に個別対応が必要な児童生徒・保護者のニーズは依然として多い。また、肉親の突然の喪失、DVなど緊急を要する事案にも早急に対応しなければならない。今後も教育相談員（臨床心理士）の配置が是非必要だと考える。</p> <p>また、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるようにするために、新規に少年安全サポーターを配置する。</p>
-----------------	---

〔事業名〕 いじめ問題に係る教育相談事業

<p>外部評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な知見の豊富な教育相談員さんの助言はたいへん参考になると思います。定期的に学校訪問していただくとか増員を検討されてはどうでしょうか。</li> <li>・子どもたちの直面する問題は多様化・深刻化しており、臨床心理士の専門的知見からの助言や対応が必須である。継続、拡大を望む。</li> <li>・不登校児童の問題と同様、総合的な支援体制作りが必要。当事者が安心して支援を受けられるように、また教育支援センターや相談できる場所・システムに接近できる手立てに工夫が必要だと思う。</li> <li>・今後も「教育相談員（臨床心理士）」の配置は必要不可欠と思います。</li> <li>・重要課題、一層の充実を望む。</li> </ul>
-------------	---

番 号	17	主 管 課	学校教育課																	
事 業 名	特別支援教育の充実事業																			
施 策 名	特別なニーズに対応した教育の推進																			
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了																			
事業の概要 及び目標	<p>センター校（萩総合支援学校）やサブセンター校（仙崎小学校）の地域コーディネーターが幼稚園・保育園や小・中学校を巡回訪問したり、スクリーニング検査や教育相談を実施したりするとともに、教職員を対象とした発達検査研修会や校内コーディネーター・特別支援教育補助教員を対象とした研修会を実施するなど、研修の充実を図る。また、市内年中児を対象として年2回の「5歳児すこやか相談会」を実施し、教育委員会を中心としたよりきめ細かな体制を構築し、早期支援とスムーズな支援につなげていく。</p>																			
予 算 額 (決算額)	平成26年度	平成27年度	平成28年度(当初)																	
	334,000円 (212,282円)	344,000円 (196,136円)	348,000円																	
執 行 率	63.6%	57.0%	—																	
評 価  (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る																			
	<p>(1) 巡回訪問・要請訪問等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○サブセンター校（仙崎小学校）のコーディネーターの現況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・要請訪問による発達検査・相談（本人・保護者・教員）73件</li> <li>・校内研修・事例検討会 6件</li> <li>・巡回訪問 33回</li> </ul> </li> <li>○センター校（萩総合支援学校）のコーディネーターの現況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・要請訪問による発達検査・相談（本人・保護者・教員）58件</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市幼保特別支援教育研修会 5月28日 <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演：気になる子どもの見方・支援の在り方について</li> <li>講師：子ども発達センター「からふる」 山中言語聴覚士</li> </ul> </li> <li>○市特別支援教育補助教員及び校内コーディネーター研修会 9月29日 <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演：学校と地区の生活を結ぶコーディネートの在り方 ～発達障害を主とした子ども及び保護者の気持ちに寄り添った支援～</li> <li>講師：社会福祉法人鼓ヶ浦整肢学園 総合相談支援センターぱれっと 堀江所長</li> <li>・グループ別シェアリング</li> </ul> </li> </ul> <p>(3) 5歳児すこやか相談会</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">第1回</td> <td style="width: 25%;">8/27</td> <td style="width: 25%;">6名</td> <td style="width: 25%;">第2回</td> <td style="width: 25%;">9/10</td> <td style="width: 25%;">5名</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>10/1</td> <td>6名</td> <td>第4回</td> <td>2/4</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: right;">計23名</td> </tr> </table> <p>特別な支援を要する園児児童生徒が多い中、地域コーディネーターによる訪問支援は各園・各校にとって必要不可欠である。</p> <p>5歳児すこやか相談会では、多くの相談希望があり、そのニーズに応じて助言や対応を行うことができた。配慮や支援が必要な児童の情報が小学校に共有されることで、児童も保護者も安心して小学校生活をスタートすることができた。</p>			第1回	8/27	6名	第2回	9/10	5名	第3回	10/1	6名	第4回	2/4	6名	計23名				
第1回	8/27	6名	第2回	9/10	5名															
第3回	10/1	6名	第4回	2/4	6名															
計23名																				

<p>課題と今後の取組</p>	<p>5歳児すこやか相談会は、保護者が気軽に相談できるように園からの声かけを丁寧に行ってもらい、必要に応じた適切な支援につながるようにしていきたい。また、地域コーディネーターを中心に個別の教育支援計画の作成を通して、相談支援の充実と相談後のフォローアップに一層努め、各小・中学校における校内コーディネーターを中心とした支援体制を強化していく。</p> <p>平成27年度からは、校内コーディネーターの育成や補助教員の資質向上をめざした研修を、福祉課との合同開催で進めている。福祉課とは定期的に情報共有会議を開催し、就学前の幼児の情報を共有しながら、早期の支援につなげていきたい。</p>
-----------------	---

〔事業名〕 特別支援教育の充実事業

<p>外部評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の基幹は特別支援教育にあるといっても過言ではありません。研修等で教師力を高め常に子どもに寄り添った支援ができるような内容になっている。</li> <li>・就学前からの早期の支援に力点を置き、配慮や支援が必要な児童の情報を小学校と共有できており、保護者や児童に安心感を持たせている。</li> <li>・福祉課と定期的に情報共有していることや、幼保、小中学校の連携がきちんとできることに期待している。きめ細やかに、また切れ目のない支援体制をお願いしたい。</li> <li>・事業番号 16、とともに大切な事業であり、双方ともに今後の強化が望まれる。</li> <li>・よい取り組みで、子育てに安心感がもてる。</li> </ul>
-------------	---

番 号	18	主 管 課	学校教育課
事 業 名	教育支援委員会事業		
施 策 名	特別なニーズに対応した教育の推進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>学校教育法施行令第18条の2（保護者等の意見聴取）に基づき、長門市教育支援委員会（旧就学指導委員会）を設置している。教育学、医学、心理学、その他の就学に関する専門的知識を有する者等、教育委員会が委嘱した15人以内の委員をもって組織し、過半数以上の出席で年に5月、11月、1月の3回実施する。専門家の意見をもとに、児童・生徒のよりよい就学につなげていく。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成26年度	平成27年度	平成28年度(当初)
	200,740円 (172,740円)	204,440円 (128,940円)	144,000円
執 行 率	86.1%	63.1%	—
評 価  〔取組状況 及び成果等〕	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>教育支援委員会を3回開催した。特別な支援を要する児童生徒数の適正な就学に資するため、専門的な立場から検討に時間をかけて慎重な審議をいただいている。</p> <p>特に次年度の就学に関わる第2回目の教育支援委員会はかなりの時間を要するが丁寧に協議いただいている。3学期にも新規に次年度の就学にかかわる児童・生徒についての協議を行った。</p> <p>《要検討児童生徒数》 ※平成25年度130名 平成26年度133名 平成27年度121名</p> <p>第1回 5月14日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度就学指導状況及び27年度の就学状況について</li> <li>就学に係る協議 4名</li> </ul> <p>第2回 11月12日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学級在籍児童生徒の就学状況について 61名</li> <li>新入学児童生徒の教育支援について 26名</li> <li>就学に係る協議 14名</li> </ul> <p>第3回 1月14日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就学に係る協議 16名</li> </ul> <p>学校や保護者の急な要望にも対応することで、児童・生徒にとって適正な就学につながっている。また、適切な支援によって集団への適応力が増して、特別支援学級から通常学級に措置替えをした事例もある。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>例年、就学時健診で特別な支援が必要ではないかという結果が出ながら、保護者の理解が得られないために教育支援委員会にあげられないケースが複数ある。</p> <p>幼稚園・保育園ならびに保健師との連携を深め、早い段階から療育に結びつけるようにしたい。そのために、教育支援委員会に市の保健師を加えるように規則を改正する。</p>
----------------------------	---

[ 事業名 ] 教育支援委員会事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家の意見のもとベストの支援がなされている。</li> <li>・早い段階からの療育に結びつけるため関係各課との連携を深めていただきたい。委員会での保健師の役割に期待する。</li> <li>・親にとって我が子に診断名がつくことや、その可能性を示されることは心に重い負担や悲しみ、その気持ちは簡単に解消できるものではないと思います。単に評価を伝え終わるのではなく、親の心情に配慮しながら支援をお願いしたい。</li> <li>・複雑な要素が絡むが、早めの対応、準備が必要。</li> <li>・慎重、丁寧な対応でよい方向へ導いてください。</li> </ul>
----------------	---

番 号	19	主 管 課	学校教育課
事 業 名	夏季教育研修講座事業		
施 策 の 課 題	特別なニーズに対応した教育の推進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>今日、「生きる力」、「心の教育」、「特色ある学校づくり」など、教育の質的転換が求められている。各界で活躍されている先達の生き方や考え方、実践などに直接ふれる機会をもつことができるようにするために、夏季休業中に、講師を招聘して4つ程度の研修講座を設ける。</p> <p>教職員のニーズに合った講座にすることにより、早期の課題解決につながる研修の場とする。</p>		
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (当初)
	95,000 円 (77,678 円)	157,000 円 (143,024 円)	170,000 円
執 行 率	81.8%	91.1%	—
評 価  ( 取 組 状 況 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>2日間の講座選択という日程で設定した。また、全講座において、一般の方や保護者も参加できるようにし、教養を広めることができる講座とした。講座③については、人権教育担当及び採用3年目までの教員は、必ず受講することとした。</p> <p>講座① 7月22日(水)「学校と地域の連携-マネージメントの視点から-」 講師 船崎 美智子 ライフスタイル研究所 代表</p> <p>講座② 7月22日(水)「いじめ問題の理解と対応の実際-いじめ防止対策推進法において求められる学校の役割-」 講師 新井 肇 国立大学法人 兵庫教育大学 教授</p> <p>講座③ 7月23日(木)「教科書記述に即した人権教育の推進」 講師 加藤 浩久 山口県教育庁 人権教育課 主査</p> <p>講座④ 7月23日(木) 「いじめってなんですか?~いじめに対する大人の認識を考える~」 講師 小森 美登里 ジェントルハートプロジェクト理事</p> <p>教職員のアンケート結果では、タイムリーな内容であり、実践に役立ち、充実した講座であったと全体評価も高かった。また、受講者を指定するやり方についても、肯定的な意見が多かった。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>本市学校教育の目指す姿や、教育の今日的課題、教職員のニーズに関連した講座内容にしてきた。</p> <p>今後も内容を吟味し、課題解決につながる内容の講座とする。</p>
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 夏季教育研修講座事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の質の向上をめざす素晴らしい事業ですが、開催日が中学校では大会と重なり参加できない先生がおられます。日程・内容を再検討され全員が参加できる研修会にできないものでしょうか。</li> <li>・全参加者が課題を共有し、課題解決に繋がる講座を今後とも提供していただきたい。</li> <li>・講座が教職員だけでなく一般の方や保護者も参加できるようになったので、評価できる。今後も続けてほしい。</li> <li>・大切な事業であり、受講者の指定というやり方についても良い方法だと思う。</li> <li>・一般の方も聞けるようになっているのはよい。広く呼びかけていただきたい。</li> </ul>
----------------	--

番 号	20	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	成人式開催事業		
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>市として新成人のお祝いをする。</p> <p>【期 日】平成28年1月3日（日）</p> <p>【会 場】ルネッサながと</p> <p>【対象者】341人（H7.4.2生～H8.4.1生）・出席者282人（出席率82.7%）</p> <p>【内 容】式典、アトラクション、記念撮影、メッセージボード設置 図書カード（記念品）</p> <p>【目 標】社会人としての自覚を促すとともに長門市に愛着を持ってもら う。</p>		
予 算 額 （ 決 算 額 ）	平成26年度	平成27年度	平成28年度（当初）
	1,111,000円 (1,031,766円)	1,112,000円 (1,034,961円)	1,075,000円
執 行 率	92.9%	93.1%	—
評 価  〔 取 組 状 況 〕 〔 及 び 成 果 等 〕	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>実施後のアンケートは次のとおり</p> <p>各項目を点数により評価（満点100点）</p> <p>式典について69点      お楽しみ抽選会71点</p> <p>ミニライブについて72点      ロビーでの催し70点</p> <p>中央公民館の社会教育関係登録団体でもある「759 軽音部 with 名音（なんごくけいおんぶ with なおと）」の皆さんと、2019ラグビーワールドカップキャンプ誘致をPRするため「山口県ラグビーフットボール協会公認応援ソング」を歌われている山陽小野田市出身の「ソルジェンティ」のミニライブ及び市内事業所より提供していただいた景品による抽選会の実施、ロビーに恩師からのメッセージボードを設置したところ、約7割の評価を得た。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>お楽しみ抽選会において、現在7社に協力してもらっているが、他の企業からも協力したいとお話があったので、より多くの地元企業から商品を提供いただき、新成人に地元企業のPRを行いたい。</p> <p>また、同時に行った成人式の開催日時及び午後開催（現行午前開催）のアンケートについては、現状でよいとの意見が多数となった。</p> <p>アンケート結果</p> <p>〔 1月3日開催について、「よい」55% 「遅い」2% 「早い」12% 午後開催について、「良いと思う」27% 「遅い」37% 〕</p>
----------------------------	--

〔 事業名 〕 成人式開催事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろ工夫され心に残る式になっていると思います。</li> <li>・ふるさとをよく知ってもらう為に大津あきら、金子みずぐ、香月泰男、村田清風等偉人コーナーを設けてはいかがでしょう。</li> <li>・出席者にとって成人式と同窓会が一体化したものと思える。祝して貰うだけでなく企画運営にかかわって新成人としての自覚を深める場となればよいと思う。</li> <li>・地元企業のPRはぜひ行ってほしい。</li> <li>・本来の目的がきちんとわかるような成人式を望む。</li> <li>・成人式の在り方を考える時代となっていると思う。「権利と義務」を考える良い機会となるイベントとすべき。</li> <li>・参加者も多く、落ち着いた成人式を開催できている。</li> </ul>
----------------	---

番 号	2 1	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	公民館指定管理事業		
施 策 の 課 題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	地域住民に公民館の管理・運営を委託する。 【管理団体】 俵山地区発展促進協議会 【委託期間】 H27. 4. 1～H30. 3. 31 【目 的】 地域住民による公民館を中心とした社会教育の充実と地域の活性化		
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (当初)
	11,256,000 円 (11,256,000 円)	11,577,000 円 (11,577,000 円)	23,345,000 円 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">俵山分 11,618,000 円 仙崎分 11,727,000 円</span>
執 行 率	100.0%	100.0%	—
評 価  ( 取 組 状 況 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	俵山公民館における利用者数は、平成27年度は6千人を超え、学習拠点としての役割やNPO法人ゆうゆうグリーンと連携した地域づくり事業により、地域の拠点として重要な役割を担っている。 また、俵山地区以外の公民館関係者（職員・公民館企画運営委員等）による視察等を受け入れ、地域づくり活動を展開していく中での公民館のあり方、関わり方についての情報交換を行うことができた。		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>地域課題の解決に繋がる公民館活動を展開する上で、リーダーやコーディネーターの人材育成が必要であるため、引き続き各種研修会への参加や開催に取り組むよう指導する。</p> <p>俵山地区以外については、平成28年度より仙崎公民館が指定管理者制度を導入した。俵山・仙崎以外の地区については、情報収集及び地域の状況の把握を行い、指定管理者制度の導入に向けて慎重に検討していく。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 公民館指定管理事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での自主的、自発的、自治的な活動で地域がより活性化することを期待します。</li> <li>・新たに指定管理者制度を導入された仙崎地区の特性を活かした公民館活動に期待したい。</li> <li>・俵山地区の取り組みが他の地域の参考になるように、学べる機会があるといい。</li> <li>・俵山地区の取り組みの具体的な情報があれば良いと思う。(問題点を含め)</li> <li>・俵山地区の運営を学びたい。</li> </ul>
----------------	--

番 号	2 2	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	図書館の充実事業		
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書等資料の充実</li> <li>・ 子どもの読書活動推進</li> <li>・ 音楽、映画、講演会等の各種事業の実施</li> </ul> <b>【目 標】</b> 図書館の利用促進と図書館機能の向上		
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (当初)
	8,794,000 円 (8,763,773 円)	8,992,000 円 (8,959,061 円)	9,209,000 円
執 行 率	99.7%	99.6%	—
評 価  ( 取 組 状 況 ) 及び成果等	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>○図書等資料の収集は、司書の選書、利用者からのリクエストに応じた資料の収集および他館からの借受けなどを迅速かつ的確に行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸出数 204,836 点 (個人・団体等全館計)</li> </ul> <p>○ボランティアによる読み聞かせは館内の定例行事はもとより、出前サービスでは出向くことによる図書館利用の促進に寄与している。</p> <p>派遣先 20 (19) カ所、出前回数 222 (227) 回、派遣人員 273 (276) 人 参加者数 3,669 (3,993) 人 ※ ( ) 内は前年度数値</p> <p>○以下イベント及びサービス等により、人員・予算とも限られた枠内において、魅力ある図書館の創出を効果的に行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館コンサート 2 回</li> <li>・ 映画上映 19 作品</li> <li>・ 図書館まつり 1 回</li> <li>・ BGMを流す・無線 LAN 利用サービス・雑誌スポンサー制度導入</li> <li>・ 手作り絵本講座</li> </ul>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>図書館サービスに対する市民ニーズの多様化とともに、職員の更なる意識改革、資質向上等が求められる。</p> <p>人口減少に伴い利用者が減少傾向にある中、図書館に何が求められているのかを検証し、事業の継続又は見直し等を検討するとともに、図書等資料やレファレンスサービスを充実させ、居心地の良い施設空間となるよう環境整備に努める。</p> <p>また、平成28年度は「うちどく（家読）事業」の一環として、閉館後にナイトライブラリーや父の日の男性によるおはなし会などを実施するなど、初めての試みを通し、利用者の拡大、図書館の活動を広く市民に認識してもらうこと等が期待できる。</p>
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 図書館の充実事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家読について学校・PTA と連携をとって共同推進されてはいかがでしょうか。</li> <li>・書籍消毒機が導入されている館もありますが長門市はどうでしょうか。</li> <li>・子育てに読書環境の充実は欠かせない。家読事業のさらなる推進と図書館に親子でくつろげる場所と企画の拡充を望む。</li> <li>・ぐるブック号について、学校と保育園だけでなく老人施設等にも回ってみてはどうか。</li> </ul> <p>「うちどく（家読）事業」の男性によるお話し会は、男性が子育てに積極的に参加されるきっかけになり良い試みと思うので、継続してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館はその地域の文化水準を顕わすものの一つだと思う。利用者の立場に立ったハード、ソフト面の更なる充実が必要と思う。</li> <li>・大変よい活動であり、より充実したものに発展し、発信して利用者を増やしていただきたい。</li> </ul>
----------------	--

番 号	23	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	婦人団体活動支援事業		
施 策 の 課 題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>長門市連合婦人会の活動を財政的及び事務的に補助・支援する。女性の立場からの様々な行政課題の解決に向けた活動を側面から支援する。</p> <p>【目 標】 地域婦人会の連絡提携と女性の教養・文化・体育の向上</p>		
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (当初)
	716,000 円 (716,000 円)	716,000 円 (716,000 円)	716,000 円
執 行 率	100.0%	100.0%	—
評 価  ( 取 組 状 況 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>婦人会は、市の諮問機関や実行委員会など多くの任意団体に構成員として求められ、女性の視点や立場を代表する市の主要団体として位置づけられており、市の社会教育関係団体の顔として、生涯学習の推進をはじめ、行政計画の策定など様々な場面で大きな貢献を果たされている。</p> <p>なお、長門市合併 10 周年功労者表彰において、社会活動功労賞を受賞されている。</p> <p>長門市連合婦人会補助金 716,000 円 平成 27 年度会員数 433 人 (油谷 210 人、仙崎 202 人、俵山 21 人) 会員ひとりの年会費 油谷 400 円、仙崎 500 円、俵山 1,000 円</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>婦人会組織が全地区にないこと、高齢化により年々会員数が減少していることは大きな課題であるが、市の主要団体として貢献されているので、今後も活動を支援していきたい。</p>
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 婦人団体活動支援事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な場面での献身的な御支援、御協力に頭が下がります。</li> <li>・地域に婦人会が存続しているのは関係者の努力の賜と思うが、女性の視点や立場を代表するという位置づけは再考する時期にきていると思う。</li> <li>・具体的な活動に特化した団体が増えていく中で、婦人会といった総合的な団体は、いろんなことができるというメリットがあると思う。活動の視点を変えるなどして若い層を増やす努力が必要と思う。</li> <li>・婦人会組織の意義も時代とともに変わっていくものであり、組織そのものが問われている時代になっていると思う。</li> <li>・輪が広がってほしい。</li> </ul>
----------------	--

番 号	24	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課									
事 業 名	青少年健全育成団体支援事業											
施 策 の 課 題	いつでも、どこでも学べる機会の充実											
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了											
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>青少年健全育成団体への活動費及び活動の補助・支援や事務業務の支援を行う。各団体の運営については自主性を持って行なわれているが、専門的な問題や行政課題に関する問題については市が側面から支援するとともに、連携して取り組む。</p> <p>【目 標】青少年健全育成の推進</p>											
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (当初)									
	638,000 円 (638,000 円)	838,000 円 (838,000 円)	638,000 円									
執 行 率	100.0%	100.0%	—									
評 価  ( 取 組 状 況 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る											
	<p>子ども会育成連絡協議会、青少年育成市民会議の事務については囑託の社会教育指導員を配置し、支援していることで、団体の健全な運営が確保できている。</p> <p>また、団体事務局を教育委員会生涯学習スポーツ振興課内に置くことで市と連携し円滑な事務執行ができています。</p> <table> <tr> <td>子ども会育成連絡協議会補助金</td> <td>176,000円</td> </tr> <tr> <td>青少年育成市民会議補助金</td> <td>261,000円</td> </tr> <tr> <td>長門市PTA連合会補助金</td> <td>151,000円</td> </tr> <tr> <td>山口県PTA研修大会長門大会開催補助金</td> <td>200,000円</td> </tr> <tr> <td>ガールスカウト活動費補助金</td> <td>50,000円</td> </tr> </table>			子ども会育成連絡協議会補助金	176,000円	青少年育成市民会議補助金	261,000円	長門市PTA連合会補助金	151,000円	山口県PTA研修大会長門大会開催補助金	200,000円	ガールスカウト活動費補助金
子ども会育成連絡協議会補助金	176,000円											
青少年育成市民会議補助金	261,000円											
長門市PTA連合会補助金	151,000円											
山口県PTA研修大会長門大会開催補助金	200,000円											
ガールスカウト活動費補助金	50,000円											

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>市の側面的な支援と連携を推進することで、青少年育成団体の活動が円滑に実施されるよう取り組む。</p>
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 青少年健全育成団体支援事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政とタイアップしないと十分な活動ができない団体です。今後も是非、御支援下さい。</li> <li>・各団体とも地道な取り組みが進められている。今後とも側面支援をお願いしたい。</li> <li>・子供会の活動は、異年齢の子や親以外の大人との関わりを持つよい機会であると思う。体験活動を意図的、計画的に提供していくことも必要。今後とも、専門員による指導や財政面の支援は継続してほしい。</li> <li>・大切な事業と思うが、「広報活動」に今以上の力を入れていくべきと思う。</li> <li>・継続支援をお願いします。</li> </ul>
----------------	---

番 号	25	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	人権教育講座開設事業		
施 策 の 課 題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>市民を対象に人権教育を推進するための講座を開設する。</p> <p>H27.7.23 第1回人権教育セミナー ルネッサながと軽運動室 参加者 約190人</p> <p>H27.11.22 第2回人権教育セミナー 日置農村環境改善センター 参加者 約170人</p> <p>H28.1.24 第3回人権教育セミナー 三隅支所研修室 ※大雪のため中止</p> <p>【目 標】人権意識の向上や人権についての啓発・啓蒙</p>		
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成26年度	平成27年度	平成28年度(当初)
	339,000円 (274,479円)	345,000円 (183,648円)	343,000円
執 行 率	81.0%	53.2%	—
評 価  ( 取 組 状 況 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>各講座とも人権教育推進委員主導で講座が開催されている。実施後のアンケートによると「とてもよい」「よい」が約90%を超えており、市民の人権意識の向上や啓発・啓蒙につながったと思われる。(第1回93%、第2回92%、第3回大雪のため中止)</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>より多くの方に参加していただけるよう、コンビニ・大型店舗等にポスター等を掲示している。</p> <p>また、ほっちゃんテレビを活用した啓発活動や番組の制作については、より分かりやすく親しみやすい啓発となるよう今後も継続していく。</p>
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 人権教育講座開設事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人でも多くの方に参加していただき市民全体で人権感覚が高まるよう今後も啓発活動をお願いします。</li> <li>・人権教育は学校や企業等各種団体で研修が行われている。人権教育担当者間で講師の選定・実施方法・広報活動の工夫等協議できるネットワークがあるとよい。</li> <li>・昨年、サッカーを通じて人権を楽しく学ぼう「人権サッカー教室」が啓発活動のひとつとして開催され、思いやりの心と感謝の心を持つことを子供たちにとっては親しみやすく楽しく学べたと思うし、子供の学びを通じて親も考えるきっかけになっていたと思う。若い層の参加者が少ないので、PTAなどの研修とリンクしてはどうか。</li> <li>・継続の必要性の大きい事業と思う。一層の周知活動を望みます。</li> <li>・参加者の多さと評価の高さに地域の関心の高さが伺える、継続してお願いします。</li> </ul>
----------------	---

番 号	26	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	人権教育啓発推進事業		
施 策 の 課 題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>人権問題についての認識を深めるため、市民を対象に講演会を開催する。</p> <p>【期 日】平成27年12月12日（土）</p> <p>【会 場】ラポールゆや 大ホール</p> <p>【対象者】一般市民・菱海中生徒 約350人</p> <p>【内 容】「いただく命、つないでいく命」 ～命の現場からみえてきたもの～ 講師 助産師 内田美智子氏</p> <p>【目 標】人権意識の向上や人権についての啓発・啓蒙</p>		
予 算 額 (決算額)	平成26年度	平成27年度	平成28年度(当初)
	390,000円 (352,936円)	377,000円 (333,955円)	346,000円
執 行 率	90.5%	88.6%	—
評 価  (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>実施後のアンケートによると、「とても満足」53.2%、「満足」27.9%と高い評価をいただいた。(計81.1%)</p> <p>人権教育講座開設事業と同様に、人権教育推進委員主導で講演会が開かれており、充実した内容となっている。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>講演会の内容はアンケート結果にあるとおり高い評価をいただいている。より多くの方に参加していただけるよう、人権週間に合わせた12月開催とした。今後もフェスティバルの認知度が上がるよう周知に努めたい。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 人権教育啓発推進事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生が参加できるすばらしい事業だと思います。</li> <li>・参加者の半数以上が「大変満足」と評価しており、満足度の高い内容となっている。周知に力を入れ、新たな参加者層を開拓していただきたい。</li> <li>・昨年の講演会は、中学校の生徒も対象者にしたのがとてもよかった。継続してほしい。</li> <li>・継続の必要性の大きい事業と思う。一層の周知活動を望みます。</li> <li>・継続してお願いします。</li> </ul>
----------------	--

番 号	27	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課																				
事 業 名	地域スポーツ人口拡大推進事業																						
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実																						
区 分	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了																						
事業の概要及び目標	山口国体の開催競技を「我がまちスポーツ」として地域に根付かせ、推進してきた「我がまちスポーツ推進事業」から、県の「地域スポーツ人口拡大推進事業」を活用して、広域的な連携を含め、「する」「観る」「支える」者の増加を図っていく。（平成27年度新規事業）																						
予 算 額 (決算額)	平成26年度	平成27年度	平成28年度(当初)																				
	—	10,000,000円 (10,000,000円)	11,000,000円																				
執 行 率	—	100%	—																				
評 価  (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る																						
	ラグビーフットボールを我がまちスポーツの核として位置付け、山口国体で培われた「する」「観る」「支える」人材を更に増幅させ地域スポーツとして一層発展させるため、ラグビーWCやオリンピックでのキャンプ地誘致も見据えた競技人口の拡大と運営能力の向上を図っている。また、サイクリングを活用し、近隣市とも連携しながら、広域的な地域活性化の取り組みも推進している。																						
	各事業の参加者等は以下のとおり。																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>主な内容</th> <th>人数</th> <th>予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">広域的展開事業</td> <td>サイクリングイベントの実施</td> <td>人</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>訪日サイクリングの誘致</td> <td>1,794</td> <td>4,000,000</td> </tr> <tr> <td>大規模大会等誘致開催事業</td> <td>西日本マスターズラグビー大会</td> <td>3,362</td> <td>3,000,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">トップアスリート交流事業</td> <td>スポーツ合宿誘致事業</td> <td rowspan="2">5,120</td> <td rowspan="2">3,000,000</td> </tr> <tr> <td>※我がまちスポーツと合算</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	主な内容	人数	予算	広域的展開事業	サイクリングイベントの実施	人	円	訪日サイクリングの誘致	1,794	4,000,000	大規模大会等誘致開催事業	西日本マスターズラグビー大会	3,362	3,000,000	トップアスリート交流事業	スポーツ合宿誘致事業	5,120	3,000,000	※我がまちスポーツと合算		
事業名	主な内容	人数	予算																				
広域的展開事業	サイクリングイベントの実施	人	円																				
	訪日サイクリングの誘致	1,794	4,000,000																				
大規模大会等誘致開催事業	西日本マスターズラグビー大会	3,362	3,000,000																				
トップアスリート交流事業	スポーツ合宿誘致事業	5,120	3,000,000																				
	※我がまちスポーツと合算																						

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>県の「我がまちスポーツ推進事業」の後継事業である「地域スポーツ人口拡大推進事業」により「する」「観る」「支える」視点からスポーツ人口の拡大を図っていく。新たに開始した大会等については、県事業の対象期間中に補助金に頼らない実施方法を確立しながら、大会の定着化を図っていく必要がある。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 地域スポーツ人口拡大推進事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかり情報発信して市民に知ってもらい「する」「観る」「支える」のどれかに参加できるようになるとよい。</li> <li>・「する」「観る」「支える」それぞれの立場の者にとって、参加してみたいと思え、かつ補助金がなくても継続できる事業を展開していただきたい。</li> <li>・より多くの方が学童期から「我がまちスポーツ」に親しむような仕組み作りが必要と思う。ラグビーを我がまちスポーツにするには、高校でラグビーをしようという意欲に繋がるような中学校の部活動のあり方を見直すべき。学校スポーツが将来の競技スポーツへの重要な要素となっているし、社会教育の中でのスポーツ振興にも多大な影響がある。</li> <li>・予算的にも大きな事業であり、市民の皆様方の理解と協力を得られるよう、周知、啓発活動の強化が必要。</li> <li>・スポーツイベントが長門に滞在型になるよう工夫していただきたい。</li> </ul>
----------------	---

番 号	28	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	スポーツ教室・健康医学講習会開催事業		
施 策 の 課 題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	各種スポーツ教室の開催 【目 標】市民が健康で豊かな生活を送るための機会を提供する。		
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (当初)
	563,000 円 (438,108 円)	490,000 円 (480,781 円)	460,000 円
執 行 率	77.8%	98.1%	—
評 価  ( 取 組 状 況 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	市民が各種スポーツの基本を学び、スポーツに親しむ機会が増すことにより、健康の維持増進を図っている。 平成 23 年度から取り組んでいるチャレンジ・ザ・ゲームの普及・啓発を図るため、スポーツ推進委員会を中心に、子ども会やPTAの集会、スポーツ少年団事業などの各種イベントへ出向き、競技の講習や記録会を開催している。 これまでに普及しているスポーツの推進だけでなく、運動が苦手な人や、体を動かすことが嫌いな人でも楽しめる、ニュースポーツの開発に取り組んだ。また、広報啓発活動に力を入れるためスポーツ推進委員のフェイスブックページを開設したことなどにより、出前講座の数は年々増加している。		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>今後も、市民がスポーツに親しむ機会を増やすため、チャレンジ・ザ・ゲームの教室を開催していく。</p> <p>研修会や出前講座を行い随時スポーツ推進委員のホームページを更新していくとともに、独自に開発したニュースポーツのルールを作成し、多くの市民に親しんでもらう。</p> <p>また、他市との交流を深めそれぞれの取組を学び、より市民がスポーツに親しめる取組につなげていきたい。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 スポーツ教室・健康医学講習会開催事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・献身的にスポーツ普及に取り組んでおられるスポーツ推進委員さん御苦勞様です。これからも市民が健康で豊かな生活が送れるよう御支援・御指導下さい。</li> <li>・今後も健康の維持増進のために気軽にスポーツに親しめる方法や場所を提供していただきたい。出前講座数の増加は喜ばしい。</li> <li>・幼児期の運動能力向上にも力を入れてほしい。</li> </ul> <p>歩く事をはじめとした体を動かすことや体を使って遊ぶ機会が減少し、幼児期に必要な多様な動きの獲得や体力、運動能力は低下しているように思う。幼児期の運動は、その後の身体の資質や心の発達にも影響してくるので、幼児期の運動にも目を向け取り組んでいただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今一度、スポーツ推進委員の立場・活動を精査すべきと思う。スポーツ推進委員に対する「定期的な研修」も必要ではないか。</li> <li>・積極的に取り組まれていることに感謝します。スポーツを通して心身共に健康になるよう取り組みに支援をお願いします。</li> </ul>
----------------	---

番 号	29	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課																	
事 業 名	長門市体育協会補助金事業																			
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実																			
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了																			
事業の概要 及び目標	<p>本市における中核的なスポーツ団体組織である長門市体育協会の活動及び運営について支援をする。</p> <p>【目 標】加盟団体の育成強化と市民の生涯スポーツ活動の推進</p>																			
予 算 額 (決算額)	平成26年度	平成27年度	平成28年度(当初)																	
	12,524,000円 (11,716,258円)	13,797,000円 (12,197,428円)	13,797,000円																	
執 行 率	93.6%	88.4%	—																	
評 価  (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る																			
	<p>長門市体育協会は、市内のスポーツ競技団体が加盟する中核的なスポーツ団体であり、指導者育成研修会の開催をはじめ加盟団体の指導・育成、協会の自主事業として市民ハイキング、グラウンドゴルフ大会、市民スポーツフェスティバル、市民駅伝大会等の各種大会を開催し、市民のスポーツ振興、体力・競技力の向上を図っている。平成27年度は長門市出身で活躍しているアスリートを招聘し、教室を開催するなど新たな試みも実施した。</p> <p>&lt;決算内訳&gt;</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">支 出</td> <td>事務局人件費</td> <td style="text-align: right;">8,397,368円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務費</td> <td style="text-align: right;">1,497,383円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費等</td> <td style="text-align: right;">3,577,577円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td style="text-align: right;">13,472,328円－①</td> </tr> <tr> <td>収 入</td> <td>大会参加負担金等</td> <td style="text-align: right;">1,274,900円－②</td> </tr> <tr> <td>差 引</td> <td>(①－②)</td> <td style="text-align: right;">12,197,428円 を補助</td> </tr> </table>			支 出	事務局人件費	8,397,368円		事務費	1,497,383円		事業費等	3,577,577円		計	13,472,328円－①	収 入	大会参加負担金等	1,274,900円－②	差 引	(①－②)
支 出	事務局人件費	8,397,368円																		
	事務費	1,497,383円																		
	事業費等	3,577,577円																		
	計	13,472,328円－①																		
収 入	大会参加負担金等	1,274,900円－②																		
差 引	(①－②)	12,197,428円 を補助																		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>今後も、市の中核的なスポーツ団体として、市民が多く参加できるスポーツ大会等の開催や、加盟競技団体の育成・指導、競技スポーツの強化を図る各種事業が円滑に行えるよう支援を継続していく。また、マンネリにならないよう、大きなイベントの前には専門委員会等を開催し、問題点の改善や新たな試みを実施していく。</p>
----------------------------	--

〔 事 業 名 〕 長門市体育協会補助金事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯スポーツ活動が活発になるようこれからも各種大会の開催よろしくお願ひします。</li> <li>・専門委員会による問題点の点検・改善等の取組に期待する。より広範な外部の意見も取り入れてマンネリ化を防いでいただきたい。</li> <li>・スポーツの技術向上だけでなく、市民の健康増進にも貢献していると思う。健康増進課とタイアップするなどマンネリにならないよう工夫が必要。</li> <li>・見直すべき点は見直し、常に市民目線での運営が必要。</li> <li>・マンネリが課題になっている所は要改善点。</li> </ul>
----------------	--

番 号	30	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課	
事 業 名	放課後子ども教室推進事業			
施 策 の 課 題	学校・家庭・地域の連携を強化し、学習成果を生かす協働の推進			
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了			
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>放課後の子どもの見守り、健全育成。</p> <p>【対 象】 小学1年生～6年生</p> <p>【実施校】 俵山小学校・神田小学校・向陽小学校・ 向津具小学校・通小学校</p> <p>【目 標】 各放課後子ども教室の支援</p>			
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成26年度	平成27年度	平成28年度(当初)	
	6,086,000円 (5,745,775円) ※俵山・神田・向陽・向津具	6,452,000円 (5,957,962円) ※俵山・神田・向陽・向津具・ 通	6,658,000円 ※俵山・神田・向陽・向津具・ 通	
執 行 率	94.4%	92.3%	—	
評 価  ( 取 組 状 況 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る			
	<p>市内の小規模校を対象とした「放課後の子どもの居場所づくり」として進めている。週2日(火・金)の実施ではあるが平成27年度より通小放課後子ども教室を開設することとなり、市内の小規模校全てに放課後子ども教室が開設されることとなった。</p> <p>登録率は、俵山小 62.1%(18/29)、神田小 64.0%(16/25)、向陽小 73.3%(44/60)、向津具小 43.3%(13/30)、通小 90.0%(27/30)となっており、多くの児童が放課後の居場所として子ども教室を活用している。</p> <p>また、各子ども教室にコーディネーター、学習アドバイザー、安全管理員を置き、研修を実施することで、安全安心面や教育面においてもより充実したものになるよう取り組んでいる。</p>			

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>学習アドバイザーや安全管理員の確保と人材育成について研修会等を実施するなど、今後も支援していく。</p>
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 放課後子ども教室推進事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居場所としての子ども教室、安心安全を第一に心温まる、心休まる場になるようお願いします。</li> <li>・学習面だけでなく、遊びや体験活動等にもそれぞれの教室による工夫がされており、地域の大人に見守られた放課後の安心な居場所となっている。</li> <li>・ボランティアスタッフの人材育成が必要であると感じました。</li> <li>・放課後児童クラブにも、学習アドバイザーやコーディネーターが派遣されたらよいと思います。</li> <li>・今後、重要度の高まる事業と思う。</li> <li>・安心・安全（人材を含む）を担保した教室の充実が期待される。</li> <li>・人材が確保できていることは大いに評価できる。研修会で意見交換し、より質を高めていただきたい。</li> </ul>
----------------	--

番 号	3 1	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	生活習慣マネジメント・サポート事業		
施 策 の 課 題	学校・家庭・地域の連携を強化し、学習成果を生かす協働の推進		
区 分	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>文部科学省委託事業を活用し、教育委員会、学校、学校運営協議会、公民館、保護者等を含む地域住民や大学の研究機関関係者で地域協議会を組織し、家庭、学校、地域における生活習慣改善に向けた取組を実施する。</p> <p>さらに、その取り組みの検証を通して、生活習慣改善のための実践モデルを作成する。</p> <p>【モデル地区】 日置地区</p> <p>【実施校】 日置中学校、山口県立大津緑洋高等学校日置校舎</p> <p>【補助率】 10/10</p> <p>【委託期間】 平成27年度～平成28年度</p>		
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (当初)
	—	1,396,000 円 【9月補正】 (845,053 円)	2,536,000 円
執 行 率	—	60.5%	—
評 価  ( 取 組 状 況 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>文科省の委託事業として年度途中からの取組となったが、昨今の研究結果によると不登校や生活の乱れに睡眠が大きく関わっていることがわかってきたことから、モデル地区を対象に、授業で睡眠の大切さについて伝えた上で、睡眠日誌や生活チェックリストの記入を10月と1月に実施し生徒自身に睡眠の必要性について意識させた結果、「帰宅後の仮眠をしなくなった」「スマホ等の使用時間の減少」「睡眠時刻の一定化」「休日と平日の起床時刻のズレの解消」など生徒自身が睡眠の必要性や質のよい睡眠をとる方法を意識することで、「イライラしなくなった」「授業中眠くならなくなった」などの成果があらわれた。</p> <p>また、平成28年2月21日(日)日置農村環境改善センター多目的ホールにおいて、「睡眠を中心とした生活習慣づくりフォーラム」を実施したところ地域の方々約150人の参加があり、アンケート結果でも「睡眠についてもっと知りたい」92%と、睡眠の重要性について意識していただくことができた。</p>		

<p>課題と今後の取組</p>	<p>文部科学省の委託事業を活用し、市内全域でたくさんの市民の方々に「睡眠を中心とした生活習慣づくり」を意識・実行していただけるように、「生活習慣改善教材」を作成する。この教材を市内小中学校及び各公民館等において授業や講座で活用することで、様々な世代に睡眠を中心とした生活習慣改善の意識の醸成を図るとともに、実践することで生活習慣に起因すると考えられている不登校の改善や認知症の予防等を図る。</p>
-----------------	--

〔事業名〕 生活習慣マネジメント・サポート事業

<p>外部評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで学校でも睡眠を含めた生活習慣づくりに取り組んでいますが社会教育関係団体とタイアップして保護者に訴え、しっかり認識していただくことが大切だと思います。</li> <li>・2年間の委託事業を通して睡眠に焦点化された生活習慣改善が図られ、成果が広まるよう期待する。</li> <li>・生活習慣が大切だということは何となくは知っていても、科学的な理由までは知っている人は少ないと思う。2月に行われた生活習慣づくりフォーラムのような講座は継続して実施してほしい。</li> <li>・モデル校は成果が出ているので、今後モデル校を拡大できないか。</li> <li>・市内小中学校「各家庭」での周知、啓発活動の一層の強化が必要と思う。</li> <li>・地域に広く、協力を図り実践したよい取り組みである。さらなる取り組みを行ってほしい。</li> </ul>
-------------	--

番 号	3 2	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	文化財の保護・活用事業		
施 策 の 課 題	次世代への地域文化の継承		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>ながと歴史民俗資料室及び日置歴史民俗資料館において、本市の埋蔵文化財や民俗資料、歴史資料等を常設展示している。</p> <p>また、ながと歴史民俗資料室においては、企画展を年2回、山口県埋蔵文化財センターの巡回展を毎年1回実施し、あわせて長門市文化財保護協力員の研修会を開催している。</p> <p>【目標】地域文化財の保存・管理と地域文化の伝承</p>		
予 算 額 ( 決 算 額 )	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (当初)
	1,420,000 円 (1,417,680 円)	1,420,000 円 (1,416,840 円)	1,420,000 円
執 行 率	99.8%	99.8%	—
評 価  ( 取 組 状 況 及 び 成 果 等 )	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>ながと歴史民俗資料室は、昔の農具等の常設展示及び企画展を行っている。常設展示では深川小の3年生、向陽小3年生が歴史授業の中で訪問し、昔の農業について展示品に触れながら学習している。企画展では、郷土の歴史展を6～8月、細田長治郎写真展を10・11月、県巡回展「発掘された山口」を12・1月、細田長治郎写真展パート2を3月に実施(会期中土・日開館)した。</p> <p>入館者：平成26年度615人 平成27年度446人</p> <p>また、日置歴史民俗資料館は、日頃改善センター職員により見学者への対応を行っており、年間約170名の入館者があった。展示については、旧日置町時代の民俗資料や歴史資料が常設展示してあり、日置ふるさとまつりや日置小児童の歴史授業における入館が主である。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>ながと歴史民俗資料室では今年度も企画展を 2 つと県巡回展を予定している。また、市内小中学校校長会で文化財保護室所管の 4 施設（ながと歴史民俗資料室、日置歴史民俗資料館、くじら資料館、村田清風記念館）と今年度企画展についての紹介文書を配布し、活用を案内した。</p>
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 文化財の保護・活用事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと学習の一環として子ども達に郷土のすばらしさを紹介して下さい。</li> <li>・地域文化の伝承面から学校の要望と摺り合わせて文化財保護協力員さんによる出前講座を検討できないだろうか。</li> <li>・展示スペースが、小中学校の発表の場になるといい。</li> <li>・文書を配布するだけでなく、実際に資料室に足を運んでもらうような工夫が必要。</li> <li>・授業等の一環として、各小学校の資料室等への訪問を増やすことも大切だと考える。</li> <li>・どこも同じように昔の農具があるが工夫がほしい。</li> </ul>
----------------	---

番号	33	主管課	生涯学習スポーツ振興課
事業名	地域文化の継承事業		
施策の課題	次世代への地域文化の継承		
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	<p>鯨及び漁村文化に係る民俗資料の保存及び展示を行うくじら資料館の運営、維持管理及び郷土の先賢である村田清風及び周布政之助の遺品と資料や、歴史民俗資料を展示する村田清風記念館の運営、維持管理を行う。</p> <p>なお、平成28年度は所蔵・展示している資料等の保存・保全のため燻蒸を予定している。</p> <p>【目標】くじら文化や村田清風の業績に対する理解を広げていくこと、地域文化財の保存・管理と地域文化の伝承。</p>		
予算額 (決算額)	平成26年度	平成27年度	平成28年度(当初)
	22,028,787円 (21,554,510円)	23,607,000円 (22,695,384円)	15,621,000円
執行率	97.8%	96.1%	—
評価  (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>くじら資料館については、国指定有形民俗文化財である「長門の捕鯨用具」を保存・展示しており、要望があれば来館者に対する説明も行っている。</p> <p>平成26年度入館者数：9,123人 平成27年度入館者数：8,720人</p> <p>村田清風記念館については、平成27年1月30日から翌年1月11日までNHK大河ドラマ「花燃ゆ」に関連した企画展「楫取素彦と妻・寿」を開催しており、期間中は無休で開館した。大河ドラマの効果もあり、年間の入館者を比較すると2倍に増加した。</p> <p>平成26年度入館者数：5,227人 平成27年度入館者数：10,732人</p> <p>その他、村田清風競書大会や古文書講座を開催し村田清風の偉業を周知・啓蒙する自主事業も実施している。競書大会参加者：平成26年度65人 平成27年度56人 古文書講座参加者：平成26年度25人 平成27年度25人</p>		

<p>課題と今後の取組</p>	<p>両施設の運営を含む文化財行政の円滑な運営の課題として、企画展の実施や展示物の調査研究などを行う学芸員等の専門的な関わりの必要性を感じている。それにより来館者増も図れるのではないかと考える。</p> <p>村田清風記念館は、平成 27 年度の企画展終了後、平成 30 年度の明治維新 150 年にあわせた新たな企画展が開催できるよう、平成 28 年度だけでなく継続的な取組を考える必要がある。</p>
-----------------	--

〔事業名〕 地域文化の継承事業

<p>外部評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとの一員としての自覚、ふるさとを愛する心を醸成する為にも魅力ある行きたくなるような資料館をめざして欲しい。</li> <li>・清風記念館における明治維新 150 年企画展の準備のためにも、学芸員の配置を検討していただきたい。</li> <li>・子供達の郷土に対する愛着や誇りに思う気持ちを育むためにも、郷土の歴史を学ぶことは必要な事だと思う。明治維新 150 年にあわせた新たな企画展が、親子で楽しく学べる企画展になるように期待します。</li> <li>・取り組むべき課題について、早急に、計画的に取りかかってもらいたい。広報活動、マス媒体への働きかけも重要と思われる。</li> <li>・展示の工夫は難しいとは思いますが、展示の斬新さがほしい。リピーターが増えて口コミで増員していくとよい。</li> </ul>
-------------	--